取扱説明書

保証書付

SANYO

IC レコーダー

品番 ICR-PS603RM

お買い上げいただきましてありがとうございました。
ご使用前に必ず取扱説明書をよくお読みいただき、後々のために大切に保管してください。
- この取扱説明書は「保証書付」です。「お買い上げ日」「販売店」などの記入を必ず確かめ、販売店よりお受け取りください。

取扱説明書には色記号の表示を省略しています。
包装箱に表示している品番の（　　）内の記号が色記号です。

本機のご使用または故障により生じた損害、逸失した利益、ご使用に要した費用または第三者からのいかなる請求についても、当社は一切の責任を負いません。

ニッケル水素電池はリサイクルへ

INDEX

本機だけで操作する項目です。
パソコンを使用する項目です。
本機、パソコン共通の項目です。

目次

パソコンでお使いになる前に 128

ファイルの管理 138

その他の活用方法 152

トラブルシューティング 154

資料 156

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

安全のため必ずお守りください。

■ 絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解のうえ、本文をお読みください。

⚠危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることがあります。
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 絵表示の例

⚠「注意（警告を含む）をうながす事項」を示します。
⃠「してはいけない行為（禁止事項）」を示します。

本体について

⚠警告

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因となります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。
運転中以外でも、踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しないでください。

■ 内部に水や異物を入れない、また風呂やシャワー室で使用しない

水場禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。
万一、水や異物が入ったときは、電池を抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。

⚠警告

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて使用すると、聴力が大きく損なわれるおそれがあります。また、始めから音量を上げ過ぎていると、突然大きな音が出て耳を傷めることがあります。音量は少しずつ上げてご使用ください。

■ 極端な温度条件のもとでは使用しない

結露などによる火災や感電の原因になります。
温度が 5℃未満、または 35℃を超える場所では使用しないでください。
湿気の多い場所で使用しないでください。身に付けている場合は、汗による湿気で故障の原因となることがあります。
水ぬれや湿気で故障と判明した場合は、保証の対象外となり無料修理はできません。

■ 置き場所に注意

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
また、窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。

⚠注意

■ 電磁波の強い場所では使用しない

高圧ケーブルや携帯電話など、電磁波の強い場所やデバイスの近くでの録音はノイズが入りますので避けてください。

■ 磁気の発生や影響する場所に近づけない

磁気の発生する近くに本機を置かないでください。また、本機を磁気カード類とも一緒にしないでください。磁気データが壊れて使用できなくなることがあります。

電池について

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">安全上のご注意
（下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）</th><th colspan="2">電池の種類と危険の度合い</th></tr>
<tr><th>エネループ
（ニッケル水素電池）</th><th>アルカリ電池</th></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ エネループ以外の充電池を使用しない
安全のため、エネループ以外の充電池、または模造品は使用しないでください。エネループ以外の充電池を使用すると、電池が発熱、破裂、液漏れなどを起こし、火災、けが、やけどや周囲を汚損する原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>－</td></tr>
<tr><td>注意</td><td>■ 液漏れ、変色、変形、外傷、変なにおいなどに気付いたときは、すぐに取り出して使用を中止し、火気から遠ざける
● 異常状態のまま使用を続けると、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。
● 液漏れしている場合は、火気に近づけると電池の電解液に引火し、発火、破裂、電解液の噴出、発煙の原因となります。</td><td colspan="2">⚠危険</td></tr>
<tr><td>分解禁止</td><td>■ 変形・分解・改造しない
変形、分解、電池に直接ハンダづけするなどの改造をすると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れの原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>⚠警告</td></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ プラスとマイナスを針金などの金属で接続したり、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しない
ショート状態になり、過大な電流が流れ、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。また、針金やネックレスなどの金属が発熱する原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>⚠警告</td></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ 火中に投入したり、加熱しない
絶縁物が溶けたり、安全機構を損傷したり、電解液に引火したりするため、発火や破裂の原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>⚠警告</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">安全上のご注意
（下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）</th><th colspan="2">電池の種類と危険の度合い</th></tr>
<tr><th>エネループ
（ニッケル水素電池）</th><th>アルカリ電池</th></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ 本機、または指定された充電器以外では充電しない
他の充電器で充電すると、過度あるいは異常な電流での充電状態となって電池内で異常な化学反応が起こり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ 外装をはがしたり、傷つけたりしない
外装をはがす、釘を刺す、ハンマーで叩く、踏みつけるなどをすると電池内部でショート状態となり、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>⚠警告</td></tr>
<tr><td>注意</td><td>■ 指示通りに入れる
● 極性（プラスとマイナス）に注意し、表示通りに入れてください。
● 万一極性を逆に入れた場合、充電時には異常な化学反応が起こったり、使用時には異常な電流が流れたりして、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>⚠警告</td></tr>
<tr><td>禁止</td><td>■ 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を止める
そのままつづけて充電すると、発火、破裂、電解液の噴出、液漏れ、発熱の原因となります。</td><td>⚠危険</td><td>ー</td></tr>
<tr><td>注意</td><td>■ 充電して使う
● エネループが消耗したときは、必ず充電してからご使用ください。充電中に電池が温かくなることがありますが、異常ではありません。
● 乾電池は充電しないでください。
● 本機以外で充電するときは、エネループ対応の充電器を使用し、充電器の「取扱説明書」に従って正しく充電してください。</td><td>⚠注意</td><td>ー</td></tr>
</table>

安全上のご注意 （下の内容は、⚠の印がある電池に該当します）	電池の種類と危険の度合い	
	エネループ（ニッケル水素電池）	アルカリ電池
禁止 ■ 使用しているときに電池を抜かない 本機を使用しているときには電池を抜かないでください。データが壊れたり、故障の原因となります。	⚠警告	
注意 ■ 録音や、録音内容を消去するときは、残量を確認する ● 録音中に電池残量表示の目盛りがなくなったときは、すぐに録音をやめて、充電または新しい電池に交換してください。 ● 消去の途中で電池切れになると、録音内容は消去できません。	⚠注意	
禁止 ■ 長時間入れたままにしない ● 本機を長時間（1 週間程度）使用しないときは電池を取り出して、涼しい場所で保管してください。	⚠警告	

電池が液漏れしたとき

液が本体内部に残ることがありますので、当社のお客さまご相談窓口にご相談ください。液が目に入ったときは、失明の原因になりますので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師に相談してください。液が身体や衣服についたときも、やけどなどの原因になりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症などの症状がでたときには、医師に相談してください。

充電式電池の廃棄について

エネループ（ニッケル水素電池）はリサイクルシステムが整備されています。寿命がきたり不要になった充電池は、（＋）（－）端子部にテープなどを貼って、リサイクルマークのある協力店や特定の回収窓口にある回収 BOX へお入れください。
充電式電池の回収やリサイクルおよびリサイクル協力店については、有限責任中間法人 JBRC のホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html をご参照ください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って、正しい取り扱いをしてください。

著作権について

放送や MD、CD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。
あなたが録音したものは個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。実演や興行の中には、個人として楽しむ目的であっても録音を制限している場合がありますのでご注意ください。

必ずお読みください

本機の使用中、万一何らかの不具合により、録音の失敗および録音内容 (データ) の損失を防ぐために

1. **録音前には必ず試し録音をしてください。**
2. **録音データを他の機器にバックアップしてください。**
3. **電池の残量が充分にある電池をお使いください。**

※本書は製品開発に先がけて印刷されており、その後性能改善や操作性向上のため製品仕様の一部が変更となることがあります。その場合は製品自体の仕様が優先されます。

本機の不具合によるデータ損失や機会損失などの補償については、当社では責任を負いません。また、修理でのデータ消去を伴う事項が発生しても、補償については当社では責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、またはファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。

商標および登録商標についての注意

- Microsoft、Windows Media™ および Windows® ロゴは米国およびその他の国における米国 Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- Windows Media™ Player は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。
- microSD ロゴ、および microSDHC ロゴは商標です。

その他、本書で登場するシステム名、製品名は一般に各開発メーカーの商標あるいは登録商標です。なお、本文中では ™、® マークは明記していません。

■時計表示について

本機の時計表示は、長期間使用していると誤差が生じる場合があります。定期的にカレンダー設定されることをおすすめします。また、タイマー予約録音をする前には、時報などで正確な時刻を設定してください。

お使いになる前に

本書の見方

- 本書の中では、「microSD™ メモリーカード（別売）」、「microSDHC™ メモリーカード（別売）」を総称して「microSD カード」と表記しています。
- 本書に掲載している画面は、microSD カード（別売）が本機に挿入されている場合の画面で説明しています。本機には microSD カードは付属していません。

機能・操作の概要

本機で操作、設定できる機能の概要を説明しています。
また、他の機能と同時に設定できない条件などを説明しています。

操作手順

操作、設定の方法を順番に説明しています。
また操作、設定中に気をつけていただきたい内容についても説明しています。
［ ］は、画面内の選択項目を表します。
☞ は、参照・補足する内容が記載されているページを表します。

本体（内蔵）メモリ /microSD カードを初期化する（フォーマット）

フォーマットを行うと、ごみ箱機能が「ON」の場合でも全てのファイルが完全に消去されます（本体（内蔵）メモリ /microSD カード初期化）。一度消去したファイルは元に戻すことができません。
消去前に必ず本体（内蔵）メモリ /microSD カード内の録音内容を確認してください。全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器にバックアップしてください。
（☞ 138、166 ページ）
・ 全データを消去する前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

1 メニュー / プレイリストボタンを押す
メニュー画面が表示されます。

2 音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す
【共通設定】画面が表示されます。

3 音量（＋ / －）ボタンを押して［フォーマット］を選択し、再生 /OK ボタンを押す
【フォーマット】画面が表示されます。

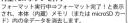
【共通設定】
フォーマット
メニュー初期化
バージョン

4 音量（＋ / －）ボタンを押して［内蔵メモリ］または［microSD カード］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

95

- 本機は､各操作（一部を除く）を音声でご案内する「音声ガイド機能」を搭載しています。
  ☞ 音声ガイド /BEEP 音を設定する（121 ページ）
- 本書の表記中の録音残時間や各種設定の表示は、録音状態によって異なることがあります。また、microSD カードをお使いの場合は、microSD カードの容量によっても異なることがあります。

本機で操作するボタン/スイッチ

操作､設定時に使用する本機のボタンやスイッチを説明しています。

4 ⏮/⏭ボタンを押して［実行］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

フォーマット実行中⇒フォーマット完了！と表示され、本体（内蔵）メモリ（または microSD カード）内の全データを消去します。

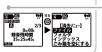
- 消去を実行しないときは【取消】を選択し、決定ボタンを押します。
- 消去実行中は、取り消しはできません。
- フォーマット中に microSD カードや電池を抜かないでください。
- フォーマット中は、録音 LED が点滅します。

メニューボタンを押してメニューを終了する

知っておくと便利です

- ファイル消去とフォルダ消去は、基本画面で停止中に消去ボタンを押して、消去メニューから実行することもできます。

消去する

96

画面表示

操作中や､操作後に画面に表示される内容です。

※この取扱説明書の画面表示は、操作説明のため実際の表示とは異なる場合があります。

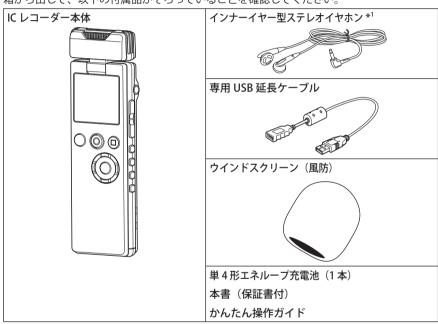
補足事項･注意事項

操作や設定の際に知っておくと便利な内容や､操作や設定の際に遵守していただきたい内容です。

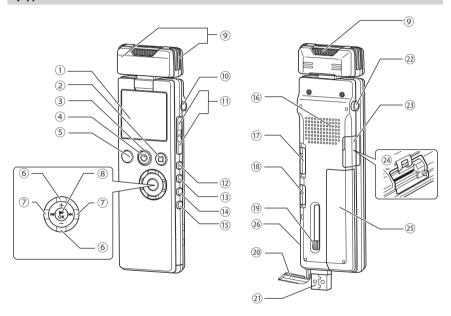
注意事項を守らないと､正しく操作や設定がされなかったり､本機の故障やデータの損失につながったりするおそれがあります。

付属品を確認する

箱から出して、以下の付属品がそろっていることを確認してください。

IC レコーダー本体	インナーイヤー型ステレオイヤホン *1
	専用 USB 延長ケーブル
	ウインドスクリーン（風防）
	単 4 形エネループ充電池（1 本） 本書（保証書付） かんたん操作ガイド

*1 本機ではリモコン付きなどの 4 極プラグ端子ステレオヘッドホンは使用できません。

各部のなまえとはたらき

本体

① 液晶パネル
本機の状態や様々な情報を表示します。
また、使用状況に応じて、パネルの明るさ（バックライト）やコントラストを調整することもできます。

② 停止 / 戻るボタン
ファイルの録音や再生を停止します。
メニュー操作中は、一つ前の画面に戻ります。

③ 録音 LED ランプ
録音中は赤く点灯し、本機が録音中の状態であることをお知らせします。

④ 録音ボタン
録音を開始します。
録音中に押すと録音を一時停止します。もう一度押すと、一時停止を解除し、録音を再開します。

⑤ シーン /A-B リピートボタン
録音シーン設定を呼び出します。
再生中に押すと、再生中のファイルの一部分を繰り返し再生（A-B リピート）します。

⑥ 音量（＋ / ー）ボタン
スピーカーやヘッドホンから出力される音量を調整します。
メニュー操作中やリスト画面操作中は、同じ階層内の項目やファイル（またはフォルダ）を選択します。

⑦ ⏮ / ⏭（早戻し、早送り）ボタン
再生中は、ファイルの頭出しやファイルの早送り、早戻しをします。
停止中は、フォルダ内のファイルを選択します。
メニュー操作中やリスト画面操作中は一つ上（または下）の階層へ移動します。

⑧ 再生 /OK ボタン
ファイルを再生します。
メニュー操作中やリスト画面操作中は、選択した内容を決定して、次の画面に移ります。

⑨ 内蔵ステレオマイク
本機の内蔵マイクです。
X-Y 型指向性マイクと全方向性ステレオマイクを切り換えることができます。

⑩ 外部入力 / マイク端子
外部マイク（別売）を使用して録音するときに、マイクを接続する端子です。
また、外部機器をこの端子に接続して、本機で録音することもできます。

⑪ 再生スピード（＋ / ー）ボタン
＋またはーボタンを押して再生スピードを調整します。

⑫ メニュー / プレイリストボタン
設定メニューを表示します。
再生中に押すと、再生設定メニューを表示します。

録音スタンバイの状態で押すと、録音設定メニューを表示します。
プレイリスト（P1 ～ P5）選択中に押すと、プレイリスト編集画面が表示されます。

⑬ リストボタン
リスト画面に切り換わります。もう一度押すと基本画面に戻ります。

⑭ フォルダ / インデックスボタン
フォルダ選択画面が表示されます。
録音中、または再生中に押すと、聞きたい場所の頭出しに便利なインデックスを付けることができます。

⑮ 消去ボタン
消去メニューを表示します。

⑯ スピーカー
再生中の音声が出力されます。

⑰ 電源スイッチ
電源のオン / オフをおこないます。
電源オンのときは短押し（スライド）、電源オフのときは長押し（スライド）します。
スイッチをホールド側にスライドさせるとホールド機能がはたらきます。

⑱ 外部入力切り換えスイッチ
マイク録音とライン（外部入力）録音を切り換えます。

⑲ USB 端子スライドスイッチ
USB 端子を使用するときにスライドさせ、USB 端子を本機から出します。

⑳ USB 端子カバー
カバーを開けると、USB 端子があります。
使用しないときは、カバーを閉じておいてください。

㉑ USB 端子
パソコンや USB 対応 AC アダプターと接続する端子です。

㉒ ヘッドホン端子
ヘッドホンで音を聞くときに使用するステレオヘッドホン端子です。

㉓ microSD カードスロットカバー
カバーを開けると、microSD カードスロットがあります。
使用しないときは、カバーを閉じておいてください。

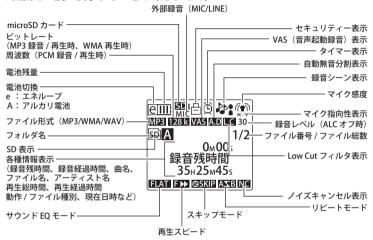
㉔ microSD カードスロット
録音や再生に microSD カードを使用するときに microSD カードを挿し込みます。

㉕ 電池ぶた
電池を入れる、または交換するときに開けるふたです。

㉖ ストラップ穴

液晶パネル

■基本画面

すべての画面を一度に表示することはできません。

液晶パネルのコントラストの調整をすることができます。

☞ **画面のコントラストを調整する（124 ページ）**

基本画面について

■基本画面

電源をオンにすると表示されます。

☞ **電源を入れる**（32 ページ）

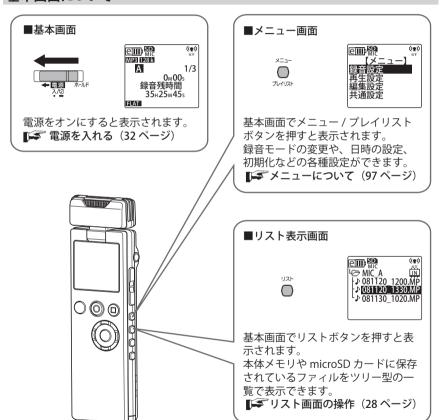
■メニュー画面

基本画面でメニュー / プレイリストボタンを押すと表示されます。
録音モードの変更や、日時の設定、初期化などの各種設定ができます。

☞ **メニューについて**（97 ページ）

■リスト表示画面

基本画面でリストボタンを押すと表示されます。
本体メモリや microSD カードに保存されているファィルをツリー型の一覧で表示できます。

☞ **リスト画面の操作**（28 ページ）

USB 端子の使い方

本機をパソコンや USB 対応 AC アダプターと接続するときは、本機に内蔵されている USB 端子を本機から出して使用します。

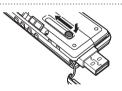
■ USB 端子を本機から出す

1 **USB 端子スライドスイッチを矢印の方向にスライドさせ、USB 端子カバーを押し開ける。**

レバーを少し押し込みながら、カチッという音がするまでスライドさせてください。

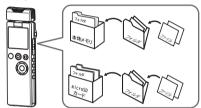
■ USB 端子を本機に収納する

1 **USB 端子スライドスイッチを矢印の方向にスライドさせる。**

レバーを少し押し込みながら、カチッという音がするまでスライドさせてください。

2 **USB 端子カバーを閉じる**

・ USB 端子を使用しないときは、カバーを閉じておいてください。

ファイル / フォルダについて

１回の録音データを「ファイル」、そのファイルを入れておく場所を「フォルダ」と呼びます。本機では複数のフォルダ（MIC_A、MIC_B など）が用意されており、ファイルはフォルダに収納されて本体メモリに保存されます。また、本機では本体メモリの他に microSD カードに保存することもできます。

知っておくと便利です

■フォルダとメモリの使い方について

●ファイル

１回の録音操作（録音→停止）をするごとに、１つのファイルが作成されます。
何度録音しても上書きはされず、各ファイルは消えません。

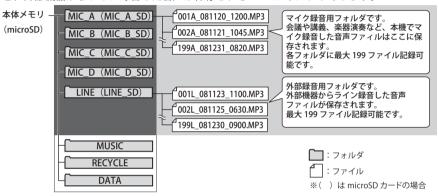
●フォルダ

ファイルを入れておく場所です。MIC_A →会議、MIC_B →英会話のレッスンなど、用途に応じてファイルの収納場所を分けると、あとから必要なファイルを探しやすくなります。

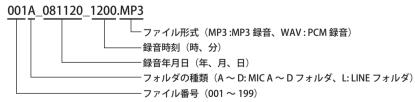
●メモリ

本機では、本体メモリのほかに microSD カードを録音用メディアとして使うことができます。メモリ内をどう整理するか（どのフォルダを使うか、各フォルダにいくつファイルを入れるか）は、メモリの最大録音時間、最大ファイル数を超えない限り、自由にお使いいただけます。

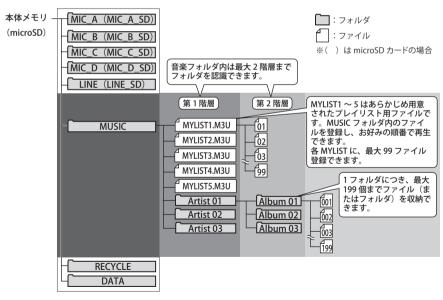
録音用フォルダについて

本機には録音用フォルダとして、マイクで録音した音声が保存される MIC フォルダ（A 〜 D）と、外部機器からライン録音した音声が保存される LINE フォルダがあります。

・拡張子 ".INX" ファイルはインデックスの情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックス情報はなくなります。

録音したファイルの名前について

本機で録音したファイルは次の構成で自動的に名前がつきます。

- 本機ではファイル番号やフォルダの種類は表示されません。パソコンに接続した場合に確認できます。
- 本機で録音したファイルの名前をパソコンで変更した場合、MIC_A ～ MIC_D フォルダや LINE フォルダでは再生できなくなります。前ページのファイル名ルールに従った名前に変更するか、MUSIC（M）フォルダに移動して再生してください。

音楽用フォルダ（MUSIC フォルダ）について

MUSIC フォルダは、パソコンから MP3、WMA ファイルなどを転送して再生するフォルダです。お手持ちの音楽 CD などをパソコンに取り込み、音楽フォルダに転送することで、本機を音楽プレーヤーとして使用することができます。

☞ **MUSIC フォルダの再生について（68 ページ）**

知っておくと便利です

■ MUSIC フォルダにパソコンからフォルダごと転送したファイルについて
MUSIC フォルダにパソコンからフォルダごとファイルを転送した場合、基本画面ではファイル数 ”0/0” となり、ファイル（曲）が入っていないように見えますが、リストボタンを押してリスト表示すると、ファイルを確認することができます。この時リスト画面では、「MYLIST1 ～ 5」の後に、パソコンから転送したフォルダが表示されますので、音量（－）ボタンを押して、転送したフォルダがあることを確認してください。

■ MUSIC フォルダの最大ファイル数について
MUSIC フォルダの最大ファイル数（199 ファイル）には、サブフォルダやプレイリストも含まれます。

その他のフォルダについて

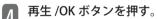
● RECYCLE フォルダ（🗑）
ごみ箱フォルダです。ごみ箱機能がオンの時、本機で消去したファイルがこのフォルダに移動されます。ごみ箱フォルダ内のファイルは元に戻すことができますので、誤って消去した場合などでも安心です。
☞ **ごみ箱機能について（87 ページ）**

● DATA フォルダ
本機からは見えません。本機をパソコンに接続したときに見ることができます。
ワードやエクセルなどのファイルを入れて、本機を microSD カードリーダー / ライター（リムーバブルディスク）として使うためのフォルダです。
☞ **USB メモリー microSD カードリーダー / ライターとして使用する（152 ページ）**

フォルダを切り換える

1 **電源を入れる**
☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 **フォルダ / インデックスボタンを押す**
フォルダ選択画面が表示されます。

3 **音量（+、−）ボタン、⏮/⏭ボタンを押して、切り換えたいフォルダを選択する。**
A ～ D：マイク録音したファイル
L：ライン録音したファイル
M：パソコンから転送したファイル
P1 ～ P5：M フォルダ内に用意されているプレイリストファイル
🗑：ごみ箱

4 **再生 /OK ボタンを押す。**
選択したフォルダに切り換わります。
・ A ～ D を選んだ時は、基本画面に戻ります。
・ M を選んだ時は、リスト画面に切り換わります。

・ リスト画面からフォルダを切り換えることもできます。（☞ 28 ページ）

リスト画面の操作

リスト画面は、フォルダやファイルをツリー型の一覧で表示します。目的のフォルダやファイルをすばやく簡単に選ぶことができます。

リスト表示する

基本画面でリストボタンを押すと、リスト画面に切り換わります。
リスト画面は、基本画面で選択していたファイルを最初に表示します。

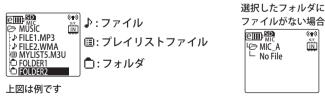
基本画面（MIC_A フォルダ）　**リスト画面（MIC_A フォルダ）**

- 再生中や録音中は、リスト画面を表示できません。再生中に、リストボタンを押すと、再生を停止してからリスト画面に切り換わります。
- ファイル名が画面に収まらない場合、カーソルを合わせたまま、しばらく待っているとスクロール表示します。

☞**録音したファイルの名前について（24 ページ）**

- もう一度リストボタンを押すと、基本画面に戻ります。

■リスト画面に表示されるアイコンについて

上図は例です

リスト画面で操作する

ファイルとフォルダの切り換え選択は音量（＋ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンだけで行うことができます。

■リスト表示中の各ボタンの機能

ボタン		機能
音量	＋	**カーソルを上方向に移動します。**
	−	**カーソルを下方向に移動します。**
	⏮	**一つ上の階層に戻ります。**
	⏭	**選択中のフォルダを開きます。**
	▶ OK （再生 /OK）	選択中のファイルの再生を開始します。選択したフォルダにファイルがない場合は、「再生するファイルがありません」と表示してから基本画面に戻ります。
フォルダ インデックス	フォルダ切り換え	**単押し…フォルダを切り換えます。** **長押し…本体メモリと microSD カードを切り換えます。**
録音	録音	リスト画面を終了して録音を開始します。
停止 戻る	停止	リスト画面を終了して基本画面に戻ります。

本体メモリと microSD カードを切り換える

本機に microSD カードが挿入されている状態で、microSD カードで録音 / 再生 / 消去を行う場合は、メディア（本体メモリと microSD カード）を切り換えてください。

☞ **microSD カードを取り付ける（36 ページ）**

1 **電源を入れる**

☞ **電池とを入れる（31 ページ）**

2 **フォルダ / インデックスボタンを押す**

【フォルダ選択】画面が表示されます。

3 **音量（＋）ボタンを押す**

【メモリ選択】画面が表示されます。

4 **⏮ / ⏭ボタンを押して、［SD（または本体メモリ）］を選択する。**

5 **再生 /OK ボタンを押す**

選択したメディアのフォルダ選択画面に戻りカーソルが MIC_A（A）フォルダに移動します。

- 続いてフォルダを選択してください。

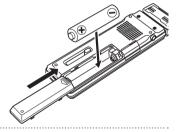
☞ **フォルダを切り換える（27 ページ）**

準備する

電池を入れる

付属のエネループ充電池を本機に入れます。

1 **電池ぶたをあける**
電池ぶたを矢印の方向にスライドさせてください。

2 **エネループ充電池（付属）またはアルカリ乾電池を入れて、電池ぶたを閉める**
- 電池の+、−の向きに注意して入れてください。
- 電池を交換する際、電池を取り外したまま 5 分以上放置すると、カレンダー設定がクリアされることがあります。この場合は、再度、カレンダー設定を行なってください。録音した内容やアラーム設定は消えません。

知っておくと便利です

本機に付属のエネループ充電池のほかに､市販のアルカリ乾電池を使うことができます。
- 市販のアルカリ乾電池を使うときは、設定メニューの「電池切換」を「アルカリ電池」に設定してください。但し、エネループ充電池以外は充電できません。
☞ **使用する電池の種類を切り換える（122 ページ）**

電源を入れる / 切る

■電源を入れる

電源スイッチを矢印の方向にスライドさせる

- 電源が入り、「DIPLY」と画面に表示された後、レジューム機能により前回電源を切る前に選ばれていたファイルが表示されます。
- 前回停止した位置から再生することができます。（再生レジューム機能）

■電源を切る

電源スイッチを矢印の方向に 2 秒以上スライドさせる

SEE YOU

- 「SEE YOU」が表示された後、電源が切れます。

知っておくと便利です

■初めて電源を入れたときは

初めて本機の電源を入れたときは、カレンダーの設定を行ってください。

☞ カレンダー（日時）を設定する（39 ページ）

■オートパワーオフ機能について

オートパワーオフ機能の設定により、電源が入った状態で設定した時間放置すると自動的に電源が切れます。（お買い上げ時は「15 分」に設定されています。）

☞ オートパワーオフを設定する（123 ページ）

電池の残量について

電池の残量は、画面で確認することができます。

□ が表示された場合は、早めに新しい電池に交換するか、エネループ充電池の場合は充電してください。

- 電池が切れると、画面に「電池切れです」または「電池切れです。充電してください」（エネループ充電池の場合）と表示された後、画面が消灯します。
- 設定メニューの「BEEP 音設定」が「音声ガイド」または「警告音」に設定されている場合は、電池切れの際に「BEEP 音」または「音声ガイド」が鳴ります。
- 周囲の温度や使用状態などにより、電池の持続時間が変わるため、残量表示はおよその目安と考えてください。
- 一度電池切れになったアルカリ乾電池は、続けて使用しないでください。エネループ充電池は、十分に充電してからご使用ください。

ご注意　電池残量がほとんどない場合でも、一度電源を切った後に再び電源を入れると、実際の電池残量よりも多い状態を表示することがあります。この時、録音をすると電池残量不足のため途中で録音が終了し、電源が切れることがあります。

レジューム機能について

電源が切れる前のファイル、再生位置状態を記憶し、次回電源を入れたときに前回電源を切ったときの状態で起動する機能です。

ただし、以下のような場合には、レジューム機能ははたらきません。

- フォルダを切り換えたとき
- パソコンに接続したとき
- 電源オフ操作を行わずに、電池または microSD カードを抜いたとき
- 本体メモリ /microSD カードを切り換えたとき
- AC 動作モードで電源オフ操作を行わずに、本機と外部電源の接続を外したとき

エネループを充電する

本機に付属のエネループ充電池は、本機に入れた状態でパソコンや USB 対応 AC アダプター（別売）で充電することができます。☞ **パソコンで充電する（134 ページ）**

AC 動作モードで使用する

本機に付属のエネループや市販のアルカリ乾電池のほかに、外部電源としてパソコンのUSB 端子からの電源供給または USB 対応 AC アダプター（別売）がご利用可能です。

1 **USB 対応 AC アダプターを使用する場合は、USB 対応 AC アダプターをコンセントに差し込む**

・ パソコンから電源供給する場合は、手順**2**に進んでください。

2 **本機の USB 端子を出す**

☞ **USB 端子を本機から出す（22 ページ）**

3 **本機の電源を切った状態で、再生 /OK ボタンを押しながら、本機をパソコンの USB 端子、または USB 対応 AC アダプターに接続する**

“DIPLY” と表示され、電源が入ります。

・ AC 動作モード時は、電池切換の表示が[AC アイコン]に変わります。
・ 電源オンの状態で接続した場合は、AC 動作モードになりません。

AC 動作モードを終了するときは、電源ボタンを 2 秒以上スライドさせ、本機の電源を切ってから、本機を取り外してください。

・ 必ず本機の電源を切ってから取り外してください。ファイルにアクセス中は専用 USB 延長ケーブルを抜いたり、パソコンの電源を切ったりしないでください。ファイルが壊れる場合があります。
・ もう一度電源をオンにするときは、一度本機を専用 USB 延長ケーブルから取り外し、再度手順**3**を行ってください。
・使用後は、USB 端子を収納してください。

☞ **USB 端子を本機に収納する（22 ページ）**
☞ **パソコンに接続する（132 ページ）**

知っておくと便利です

■ AC 動作モードで使用時のご注意

・ AC 動作モードでの連続録音時間は 1 ファイルにつき最大 24 時間です。ただし、2GB を超えて連続録音することはできません。
☞ **録音モードと録音可能時間（168 ページ）**
・ 本機の使用中及び、不適切な使用や停電などにより生じた損害、逸失した利益が発生しても、補償に関しては、当社では一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

誤動作を防止する（ホールド機能）

本機をカバンやポケットに入れたときなどに、物と接触して起こるボタンやスイッチなどの誤動作や、誤動作による電池の消耗を防ぎます。本機をカバンやポケットに入れているときは、誤動作防止のためホールド設定をすることをおすすめします。

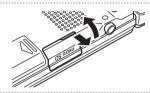
電源スイッチをホールド側にスライドする
" ホールド設定 " が表示され、各ボタンが機能しなくなります。

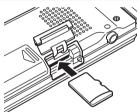
電源スイッチを戻すと、ホールド機能が解除されます。
" ホールド解除 " が表示され、各ボタンが機能します。

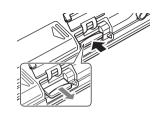
microSD カードを取り付ける / 取り外す

本機は、本体メモリのほかに microSD カードを使用することもできます。

1 **本機の電源を切る**
☞ **電源を切る（32 ページ）**

2 **microSD カードスロットのカバーを開ける**

3 **● 取り付けるとき**
microSD カードスロットに、microSD カード（市販）を図の向きにまっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまで確実に押し込む

- microSD カードを差し込む前に差込口を確認してまっすぐ差し込んでください。
- 本機の電源を入れると、画面に SD が表示されます。
- microSD カードを取り付けても認識しない場合は、いったん microSD カードを抜き、再度挿入し直してください。

microSD カード表示

●取り外すとき
microSD カードを軽く押し込む
microSD カードが少し飛び出します。
ゆっくりと引き抜いてください。

microSD カードスロットのカバーを閉じる

本機で使用可能な microSD カード

本機は 512MB 〜 2GB の microSD カード、および 4GB、8GB の microSDHC カードに対応しております。(2008 年 11 月現在)

- microSD カード、microSDHC カードの製造メーカーや種類によっては本機で正しく動作しないものもあります。
- 当社基準において動作確認済のカードについては、当社サポートホームページをご確認ください。
  http://www.sanyo-audio.com/support/icr/index.html

■ microSD カードの取扱いについて

- 本機で microSD カードを使うときは、microSD カードをフォーマットしてください。
  フォーマットは必ず本機で行ってください。ほかの端末やパソコンでフォーマットした microSD カードは、使用できないことがあります。
  ☞ microSD カードを初期化する（フォーマット）（95 ページ）
- microSD カードは、本機に正しく取り付けてください。正しく取り付けていないと本機で microSD カードへの録音 / 再生ができません。
- microSD カードの取り付け / 取り外しの際に、必要以上に力を入れないでください。手や指をけがするおそれがあります。また、microSD カードおよび本機のカードスロットが破損するおそれがあります。
- microSD カードの端子面に触れたり、水に濡らしたり、汚したりしないでください。
- microSD カードを曲げたり、折ったり、重いものを載せたりしないでください。
- 当社基準において動作確認済の microSD カードをご使用ください。動作確認済以外の microSD カードを使用すると、データの消失や故障の原因となるおそれがあります。
- 本機の電源を入れたまま、microSD カードの抜き差しをしないでください。microSD カード内のデータが破損するおそれがあります。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと奥まで挿入できません。
- microSD カードは、サイズが小さいため抜き差し時の取り扱いには、充分ご注意ください。
- 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所での使用や保管は避けてください。
- microSD カードを腐食性の薬品の近くや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障、内部データ消失の原因となります。
- microSD カードを廃棄する場合、内部データが流出するおそれがありますので、内部データを消去するだけでなく物理的に microSD カードを破壊したうえで廃棄することをおすすめします。
- 挿入方向や microSD カードの表裏を間違うと microSD カード、および microSD カードスロットが破損するおそれがあります。
- **microSD カードは、小さなお子様の手に届くところには絶対に置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。**
- 電源オン時に microSD カードを認識しない場合、一度電源をオフにし、microSD カードを挿入し直してから、再度電源をオンにしてください。

カレンダー（日時）を設定する

日付と時刻を設定しておくと、録音した日と時刻の情報がファイルごとに自動で記録されます（タイムスタンプ機能）。また、ファイル名に録音日時の情報が入りますので、正確にカレンダー（日時）設定をしておくことをおすすめします。
ここでは､カレンダーを｢2008 年 12 月 20 日 24H 18 時 30 分｣に設定する手順を説明します。

1 本機の電源を入れる

☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 メニュー / プレイリストボタンを押す

設定メニュー画面が表示されます。

3 音量（＋ / －）ボタンを押して、［共通設定］を選択する

4 再生 /OK ボタンを押す

共通設定メニュー画面が表示されます。

準備する

5 音量（+ / −）ボタンを押して、[カレンダー設定］を選択する

6 再生 /OK ボタンを押す

カレンダー設定画面が表示されます。

7 カレンダー日時を設定する

① ⏮ / ⏭ボタンを押して、西暦、月、日、24H/12H（AM/PM)、時、分を選択する

② 音量（+、−）ボタンを押して、数値を変更する

8 再生 /OK ボタンを押す。

カレンダーが設定され、［共通設定］画面に戻ります。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

表示

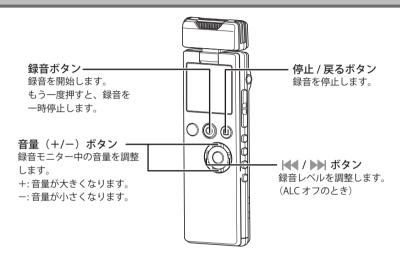
表示情報を切り換える

基本画面で停止 / 戻るボタンを押すごとに、表示画面が以下の順番で切り換わります。
（例 :MIC_A フォルダの場合）

表示順	表示項目	再生対象ファイルがある場合	再生対象ファイルがない場合
1	録音残時間	SD MIC MP3 128 k ST A 1/1 0M00S 録音残時間 35H25M45S FLAT	SD MIC MP3 128 k ST A 0/0 0M00S 録音残時間 35H25M45S FLAT
2	現時刻	SD MIC MP3 128 k ST A 1/1 現時刻 08年11月20日(木) 10時15分30秒 FLAT	SD MIC MP3 128 k ST A 0/0 現時刻 08年11月20日(木) 10時15分30秒 FLAT
3	再生総時間	SD MIC MP3 128 k ST A 1/1 0M00S 再生総時間 2M41S FLAT	表示されません
4.	ファイル名	SD MIC MP3 128 k ST A 1/1 0M00S 081120_1200.MP3 FLAT	表示されません
5	録音日時	SD MIC MP3 128 k ST A 1/1 録音日時 08年11月20日(月) 12時00分 FLAT	表示されません

※MUSIC フォルダは、フォルダ内に再生対象ファイルがあっても「録音日時」は表示されません。また、録音残時間も表示されません。

録音する

録音の基本操作

・ AC 動作モードで録音中は、本機をパソコンや USB 対応 AC アダプターから取り外さないでください。正常に停止せずに取り外すと、本体メモリや microSD カード内のデータが壊れる可能性があります。

録音について知っておきたいこと

風切り音について

本機は高性能マイクを搭載しているため、マイクに直接息や風があたるような状況下では、風切り音が録音されます。
そのような場合は、設定メニューで「Low Cut フィルタ」(☞ 107 ページ) を「ON」に設定し、付属のウインドスクリーン（風防）を取り付けて録音することをおすすめします。

録音可能時間について

録音可能時間とは、お買い上げ時の何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合の最大合計時間です。
録音モードによって音質と録音可能時間が変わります。
工場出荷時は「MP3 128kbps」ですが、用途に応じて録音モードを変更してください。
☞ 録音モードを切り換える（103 ページ）

外部録音（外部入力 / マイク端子）設定について

本機の外部入力端子は、外部入力切り換えスイッチで「マイク入力」と「ライン入力」の切り換えができます。

■外部マイクを使用する場合

外部入力切り換えスイッチを「マイク」側にスライドさせる
外部録音設定が「マイク」に設定され、画面の表示が「MIC」に切り換わります。
本機の外部入力端子に別売のステレオマイクを接続して録音してください。
使用可能な外部マイクは（市販の外部マイクを使用する場合は）、下記仕様のマイクを推奨します。

推奨 :

- 形式：エレクトレットコンデンサー / プラグ イン パワー方式
- インピーダンス：2k Ω
- 電源：1.3V にて動作保証品
- プラグ：ミニプラグ（3.5 φ）

- 推奨品以外の外部マイクを使用された場合、正常に録音できないときがあります。
  使用可能な外部マイクについては、「関連商品について」（☞ 156 ページ）を参照してください。

■他のオーディオ機器と接続する場合

外部入力切り換えスイッチを「ライン」側にスライドさせる
外部録音設定が「ライン」に設定され、画面の表示が「LINE」に切り換わります。

- 録音したファイルは、自動的に LINE（L）フォルダに保存されます。

録音シーンセレクト機能について

録音状況に応じた各種の録音設定の組み合わせを、本機に登録されている録音シーンから選択し、録音することができます。

録音シーンを選択する

あらかじめプリセットされている「口述」、「会議」、「講義」、「音楽」の 4 つの設定と、各種の録音設定を自由に組み合わせて登録できる「お気に入り 1 ～ 3」から選択することができます。また、録音シーンはお好みで編集することができます。

プリセット	口述	会議	講義	音楽	お気に入り 1 ～ 3
	インタビューや会話の録音などに最適な設定です。	会議など全方向からの音声を録音するのに最適な設定です。	講義など前方（一定方向）からの音声を録音するのに最適な設定です。	楽器演奏や動物の声などを高音質で録音するのに最適な設定です。	お好みの録音設定を登録しておくことができます。
録音モード	MP3: 64kbps	MP3: 128kbps	MP3: 128kbps	PCM: 48kHz	MP3: 128kbps
マイク感度	低	高	高	高	高
マイク ALC 設定	ON	ON	ON	OFF	ON
指向性切替	STEREO	STEREO	X-Y	X-Y	STEREO
LowCut フィルタ	ON	ON	ON	OFF	OFF
録音ピークリミッター	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
自動無音分割	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
VAS 設定	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

1 本機の電源を入れる
☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 シーン /AB リピートボタンを押す
現在、選択されている録音シーンが表示されます。

3 ⏮ / ⏭ボタンを押して、お好みの録音シーンを選択する
- お買い上げ時は、録音シーンの設定は「OFF」に設定されています。

4 再生 /OK ボタンを押す
選択した録音シーンが設定され、基本画面に戻ります。
- 設定した録音シーンアイコンが画面に表示されます。

OFF	口述	会議	講義	音楽	お気に入り
なし					

知っておくと便利です

- 各プリセットの設定内容は、お好みに応じて編集することができます。
  ☞ **録音シーンセレクト機能を設定する（118 ページ）**
- 録音モードやマイク感度など各種の録音設定は、メニューから切り換えることもできます。
  ☞ **メニューについて（97 ページ）**
- 録音シーンを設定した後、メニューで録音設定を変更すると、録音シーンセレクトは「OFF」になります。

録音する

本機の内蔵マイクで録音します。
録音シーンセレクトで「音楽」を選択した場合や、ALC を「OFF」に設定している場合は、録音する内容や音の大きさに合わせて、手動で録音レベルを調節して録音します。

1 **本機の電源を入れる**
☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 **録音するフォルダを選択する**
☞ **フォルダを切り換える（27 ページ）**

3 **録音シーンを選択する**
☞ **録音シーンを選択する（45 ページ）**

- 「音楽」を選択、または ALC を「OFF」に設定している場合は手順4に進み、録音レベルの調整を行なってください。
（画面右上に数字が表示されている場合は、ALC がオフに設定されています。）
- 「音楽」以外を選択、または ALC を「ON」に設定している場合は録音レベルの調整は不要です。手順5に進んでください。

録音レベルを調整する（録音シーンの設定が「音楽」、または ALC 設定が「OFF」の場合のみ）

以下の手順で録音レベルの調整を行なってください。

①**録音ボタンを押す**

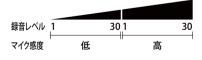
録音スタンバイ画面が表示されます。

・この状態ではまだ録音を行っていません。

②**楽器演奏などを録音する場合は、マイクに向かって実際に録音する音を鳴らす**

レベルメーターが左右に振れます。レベルメーターが右に振れるほど、大きな音で集音していることを表します。

③**⏮ / ⏭ボタンを押して、録音レベルを調整する**

・ボタンを押すと録音レベル表示が 0 から 30 の範囲で調整できます。録音レベルはマイク感度ごとに設定できます。録音レベル 0 の場合は無音が録音されます。

（次ページにつづく）

・録音 LED が点灯しない範囲で、できるだけ大きく集音する（レベルメーターが右に振れる）ように▶▶|ボタンを押して録音レベルを上げてください。

・録音 LED が点灯した場合は、録音 LED が消えるところまで|◀◀ボタンを押して録音レベルを少し下げてください。
・録音レベルを 1 まで下げても録音 LED が点灯する場合は、マイク感度を「低」に設定してください。
録音レベルを 30 まで上げてもレベルメーターが適切な録音レベルに達しない場合は、マイク感度を「高」に設定してください。
☞ マイク感度を切り換える（104 ページ）

・適切な録音レベルは、録音したい音が最も大きくなった場合でも、レベルメーターが右に振り切れることなく録音 LED が点灯しない状態です。

※メニュー設定で、録音 LED が「OFF」に設定されている場合は、録音 LED は点灯しません。
☞ 録音 LED を設定する（122 ページ）

録音ボタンを押す

録音 LED が点灯し、録音を開始します。

- 録音中は、本機をさわったり、動かしたりしないでください。接触音が録音されます。

- 録音中に録音ボタンを押すと、録音を一時停止します。もう一度押すと、録音を再開します。
- 録音中にインデックスをつけることができます。

  ☞ **インデックスを付ける（69 ページ）**
- 録音中、ヘッドホンから、録音している音声をモニターすることができます。音量は音量（＋ / －）ボタンで調整できます。
- 手順**2**で設定したフォルダに録音ファイルが保存されます。

停止 / 戻るボタンを押す

録音 LED が消灯し、録音を終了して基本画面に戻ります。

録音 EQ を設定する

録音 EQ 機能を使用することにより、低音域を強調して録音したり、中音域を強調して録音するなど、お好みの音質で録音することができます。

- 録音 EQ はマイク録音（A ～ D フォルダへの録音）の場合に設定できます。
- 録音 EQ は録音スタンバイ状態（録音シーンセレクトで「音楽」を選択時、またはメニューで ALC を「OFF」に設定時）でのみ設定可能です。

☞ **録音する（47 ページ）**

プリセット録音 EQ について

あらかじめプリセットされている「FLAT」、「RECOMMEND」、「SUPER BASS」、「BASS」、「MIDDLE」、「BASS&TREBLE」、「TREBLE」、「SUPER TREBLE」の 8 種類の録音 EQ と、5 バンドの録音レベルを自由に設定できる「USER」から選択することができます。
プリセット録音 EQ の特徴は、以下のとおりです。

FLAT	RECOMMEND	SUPER BASS	BASS	MIDDLE	BASS&TREBLE	TREBLE	SUPER TREBLE
FLAT	RECOMMEND	SUPER BASS	BASS	MIDDLE	BASS&TREBLE	TREBLE	SUPER TREBLE
内蔵ステレオマイクでの推奨設定です。	内蔵 X-Y マイクでの推奨設定です。	低音域をより強調して録音します。	低音域をやや強調して録音します。	中音域を強調して録音します。	低音域と高音域をやや強調して録音します。	高音域をやや強調して録音します。	高音域をより強調して録音します。

- 「USER」の出荷時の設定は、「FLAT」と同様です。
- プリセットされている 8 種類の録音 EQ モードは、設定内容の変更（調整）はできません。細かい設定内容の変更を行いたい場合は、「USER」を選択してください。

☞ **録音 EQ をお好みの音質に設定する（53 ページ）**

プリセット録音 EQ 設定のしかた

1 本機の電源を入れる

☞ 電源を入れる（32 ページ）

2 マイク ALC の設定を「OFF」に切り換える、または録音シーンセレクトで「音楽」を選択する。

☞ マイク ALC 設定を切り換える（105 ページ）

3 録音するフォルダを選択する

☞ フォルダを切り換える（27 ページ）

・ A ～ D フォルダを選択してください。

4 録音ボタンを押す

録音スタンバイ画面が表示されます。

5 メニュー / プレイリストボタンを押す

録音設定画面が表示されます。

6 音量（＋ / －）ボタンを押して［録音 EQ］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

7 **⏮ / ⏭ボタンを押して録音 EQ モードを選択し、再生 /OK ボタンを押す**

選択した録音 EQ に設定され、録音設定画面に戻ります。

8 つのプリセット録音 EQ と、自由に設定を変更できる「USER」から選択できます。

- 「USER」を選択した場合は、「録音 EQ をお好みの音質に設定する」(☞ 53 ページ) を参照の上、設定してください。

8 **メニュー / プレイリストボタンを押す**

録音スタンバイ画面に戻ります。

- 録音レベルを調整した後、もう一度録音ボタンを押すと、録音が開始されます。
- 録音 EQ 設定中にキャンセルして戻るには、停止 / 戻るボタンを押します。

- 録音 EQ の設定は、本機の電源を切ったり、電池交換を行ったりしても保存されます。ただし、電源を切らずに電池交換を行った場合は、設定は保存されません。

録音 EQ をお好みの音質に設定する（USER 選択時のみ）

録音 EQ で「USER」を選択している場合、録音 EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 **録音 EQ 設定で「USER」を選択する**

☞ プリセット録音 EQ 設定のしかた (52 ページ)

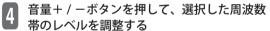
2 **音量（－）ボタンを押す**

150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。

3 **⏮ / ⏭ボタンを押して、変更したい周波数帯を選ぶ**

選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

- 「150H z」､「500H z」､「1k H z」､「4kHz」､「12kHz」の周波数帯の調整ができます。

4 **音量＋ / －ボタンを押して、選択した周波数帯のレベルを調整する**

－ 12dB ～ 12dB（25 段階）まで、 1 dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。

- 音量（＋）ボタンを押すとレベルが大きくなります。
- 音量（－）ボタンを押すとレベルが小さくなります。
- 他の周波数を変更する場合は手順**3**と手順**4**の操作を繰り返してください。
- 途中で設定を中止するときは、停止 / 戻るボタンを押してください。手順**1**の画面に戻ります。

5 再生 /OK ボタンを押す

「USER」の設定を完了し、録音設定画面に戻ります。

6 メニュー / プレイリストボタンを押す

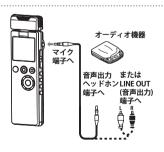
録音スタンバイ画面に戻ります。

- 設定途中で停止 / 戻るボタンを 2 回押すと録音スタンバイ画面に戻ります。
- 録音 EQ の「USER」設定は本機の電源を切ったり、電池交換を行ったりしても保存されます。ただし、電源を切らずに電池交換を行った場合は、設定は保存されません。

外部機器から録音する

コンポやラジカセ、CD・MD プレーヤーなど外部機器と接続して、音楽などを録音することができます。

1 本機のマイク端子と外部機器の音声出力端子をつなぐ

- 市販のオーディオケーブル（ステレオミニプラグ：3.5 φ、抵抗なし）を使用してください。

（次ページへつづく）

2 **本機の電源を入れる**

☞ 電源を入れる（32 ページ）

3 **外部入力切り換えスイッチを「ライン」に切り換える**

☞ 録音モードを切り換える（103 ページ）

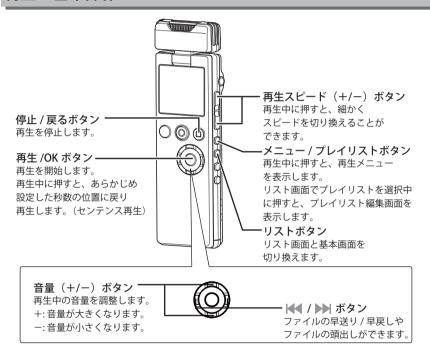
4 **外部音源を再生し、本機の録音ボタンを押して録音を始める**

- LINE（L）フォルダに録音されます。
- 録音を始める前に事前に試し録音を行い、外部機器で録音の調整を行ってください。音量が大きすぎると、音割れの原因になります。

5 **停止 / 戻るボタンを押して録音を停止し、外部機器の再生を停止する。**

- 再生側の音量が最大でも、ライン録音した音が小さい場合、外部入力切り換えスイッチをマイクに設定し、録音レベルを調整して録音してください。この場合、選択したマイクフォルダ（A ～ D）に保存されます。

再生する

再生の基本操作

ファイルを再生する

本機で録音したファイルを再生します。

1 **本機の電源を入れる**
☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 **リストボタンを押す**
リスト画面が表示されます。

3 **フォルダ / インデックスボタンを押し、再生したいファイルのあるフォルダを選択する**

- ボタンを押すごとに、リスト表示のままフォルダが切り換わります。
  A ～ D: マイク録音したファイル
  L: ライン録音したファイル
  M: パソコンから取り込んだファイル
  P1 ～ P5: M フォルダ内に用意されているプレイリスト
  🗑: ごみ箱
- 右図は、MIC_A（A）フォルダを選択した場合です。

4 音量（＋ / −）ボタンを押し、再生するファイルを選択する

5 再生 /OK ボタンを押す

基本画面に戻りファイルが再生されます。

6 停止 / 戻るボタンを押す

再生を停止し、基本画面に戻ります。

再生中の画面表示

再生中の液晶画面の表示は、再生するフォルダにより異なります。
すべての画面を一度に表示することはできません。

● MIC_A ～ D（A ～ D）、LINE（L）フォルダ

● MUSIC（M）フォルダ

- ファイルによっては、再生経過時間と実際の経過時間が異なる場合があります。
- ファイルによっては登録されたアーティスト名や曲名などが表示されないことがあります。
- 再生中、長い曲ファイル名はスクロール表示します。

早送りをするには

▶▶|ボタンを 1 秒以上押し続けると早送りが始まります。早送り開始後は、指を離しても早送りは継続されます。
通常の再生速度に戻すには再生 /OK ボタンを押します。

早戻しをするには

|◀◀ボタンを 1 秒以上押し続けると早戻しが始まります。早戻し開始後は、指を離しても早戻しは継続されます。
通常の再生速度に戻すには再生 /OK ボタンを押します。

ファイルの頭出し（ファイル送り / ファイル戻し）をするには

再生中 * または停止中に▶▶|をポンと 1 回押すごとにファイル送りします。
|◀◀をポンと 1 回押すごとにファイル戻しします。
* タイムスキップ設定時は、タイムスキップ機能がはたらきます。

インデックス送り / インデックス戻しをするには

インデックスを付けたファイルの再生中 * に▶▶|をポンと 1 回押すごとに次のインデックスに送ります。|◀◀をポンと 1 回押すごとに前のインデックスに戻ります。
☞ **インデックスを付ける（69 ページ）**
* タイムスキップ設定時は、タイムスキップ機能がはたらきます。

タイムスキップ（送り / 戻し）をするには

タイムスキップ機能を設定した状態で、再生中に|◀◀または▶▶|をポンと 1 回押すごとに、設定された時間の間隔だけタイムスキップします。
☞ **タイムスキップを設定する（114 ページ）**
・ 設定したタイムスキップより近い位置に、ファイルの頭出し位置やインデックスマークがある場合は、その位置にタイムスキップします。
・ タイムスキップ設定中に、ファイル送り / 戻しするには、一度ファイルの再生を停止してから|◀◀または▶▶|をポンと一回押します。

再生に関する機能と設定

本機は、語学学習や会議録音の再生などに効果的に使える様々な機能を搭載しています。詳しくは、下記ページを参照してください。

機能	効果	設定内容
早聞き、遅聞き **☞（63 ページ）**	再生スピードを早くしたり、遅くしたりすることができます。聞き取りにくい音声は遅く、早く聞きたい場合は早くすることで、便利に使うことができます。	MP3: 50 ～ 200% WMA: 50 ～ 120%
時間指定サーチ **☞（67 ページ）**	ファイルの指定した再生位置にスキップして、再生することができます。	—
A-B リピート **☞（64 ページ）**	再生中のファイルの一部分（A 点と B 点）を指定し、繰返し聞くことができます。	—
センテンス再生 **☞（66 ページ）**	再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生する機能です。音楽の短いフレーズや、語学学習などで聞き逃した場合にワンボタンで戻ることができます。	1 ～ 5 秒
タイムスキップ **☞（61、114 ページ）**	再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップし、再生することができます。	OFF、10 秒、30 秒、1 分、5 分、15 分
ノイズキャンセル **☞（65 ページ）**	再生時に雑音やノイズがある場合、ノイズキャンセル機能を使用することで音声が聞き取りやすくなります。	OFF、弱、強、 Low Cut
リピートモード **☞（112 ページ）**	ファイルのリピートモードを設定することができます。	OFF、ONE、ALL、 RANDOM
サウンド EQ **☞（115 ページ）**	お好みの音質で再生することができます。	FLAT、BASS1、BASS2、POP、ROCK、JAZZ、USER
インデックス機能 **☞（61、69 ページ）**	インデックスマークをつけることで、後で聞くときに素早く頭出しができます。（ミュージック / ごみ箱フォルダでは使用できません。）	—

早聞き / 遅聞き機能

語学学習や楽器演奏での聞き取りにくい箇所は再生スピードを遅く、会議の内容は早くといったように、必要に応じて再生スピードを調節して聞くことができます。音声はデジタルで自動調節され、音程が変わることなく聞くことができます。

再生スピードを早くしたいときは、再生中に、再生スピード（＋）ボタンを押す

ボタンを押すごとに再生スピードが早くなります。

再生スピードを遅くしたいときは、再生中に、再生スピード（－）ボタンを押す

ボタンを押すごとに再生スピードが遅くなります。

・「SLOW」再生は 5%ごとに、「FAST」再生は 10%ごとに段階的に再生スピードを切り換えることができます。

	NORMAL	SLOW	FAST
アイコン	なし	S ▌▶	F ▶▶
MP3	100%	50%から 100%までは 5%ごと	100%から 200%までは 10%ごと
WMA	100%	50%から 100%までは 5%ごと	100%から 120%までは 10%ごと

A-B リピート（部分リピート）再生を行う

再生中のファイルの一部分（A 点から B 点まで）を指定し、繰り返し再生することができます。

1 **A-B リピートを行うファイルを再生する**
☞ ファイルを再生する（58 ページ）

2 **A-B リピート再生の開始位置でシーン /AB リピートボタンを押す**
開始位置表示が点灯します。

開始位置表示

3 **A-B リピート再生の終了位置でシーン /A-B リピートボタンを押す**
A-B リピート再生を解除するまで繰り返し再生します。

A-B リピート表示

- A-B リピート再生中に次の操作を行うと A-B リピートが解除されます。
  - もう一度 A-B リピートボタンを押す
  - 停止 / 戻るボタンを押す
  - ⏮ / ⏭ボタンを押す
- A-B リピート再生中にも、再生スピードの変更（☞ 63 ページ）をしたり、インデックス（☞ 69 ページ）をつけたり、センテンス再生（☞ 66 ページ）を行ったりすることができます。
- A 点と B 点の間隔が短すぎる場合、A-B リピートの設定ができません。
- A 点を設定後、B 点を設定しなかった場合、そのファイルの末尾が B 点になります。
- ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

ノイズキャンセル機能を使う

再生時に雑音やノイズがある場合、ノイズキャンセル機能を使うことで、音声が聞きやすくなります。

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［再生設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【再生設定】メニューが表示されます。

- 再生中の場合は、手順3の画面が表示されます。

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［ノイズキャンセル］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【ノイズキャンセル】設定画面が表示されます。

4 **音量（＋ / －）ボタンを押してお好みの設定を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

OFF: ノイズキャンセルを設定しません。
弱 : 弱いノイズキャンセル効果です。
強 : 強いノイズキャンセル効果です。
Low Cut: 低い周波数の音を減衰させます。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- ノイズキャンセルを設定すると画面にアイコンが表示されます。
- 録音状態によっては、雑音が軽減しない場合があります。
- M フォルダに保存した音楽 CD などのファイルや本機でマイク録音した音楽を再生する場合は、「OFF」に設定してください。

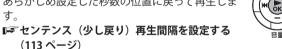
ノイズキャンセル表示

センテンス再生を行う

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

再生中に再生 /OK ボタンを押す

あらかじめ設定した秒数の位置に戻って再生します。

☞ **センテンス（少し戻り）再生間隔を設定する（113 ページ）**

- もう一度戻して聞きたい場合は、もう一度センテンス再生ボタンを押します。
- A-B リピートを行っている場合は A-B リピート設定区間内でセンテンス再生を行います。
- 戻す秒数が、現在の再生位置より長い場合はファイルの最初から再生を行います。
- 最大で、再生中ファイルの先頭まで戻りますが、ファイルをまたいで（1 つ前のファイルに）戻ることはありません。

時間指定サーチを行う

ファイルの再生位置を時間指定し、指定した位置から再生することができます。

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［再生設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【再生設定】メニューが表示されます。

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［時間指定サーチ］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【時間指定サーチ】設定画面が表示されます。

4 **現時間を指定する**

⏮ / ⏭ボタンで変更する時間（H）、分（M）、秒（S）を選択します。

音量（＋ / －）ボタンを押すごとに数値が変更します。

000H00M00S ～ 999H59M59S

時間　分　秒

5 **再生 /OK ボタンを押す**

指定した位置にスキップし、ファイルが再生されます。

・ 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行なうことができます。

MUSIC フォルダの再生について

MUSIC（M）フォルダはパソコンから MP3、WMA および本機で録音した WAV ファイルを取り込んで再生するフォルダです。MUSIC（M）フォルダの中にお好みのフォルダを作成し、その中にファイルを転送して再生することもできます。

☞ **Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（149 ページ）**

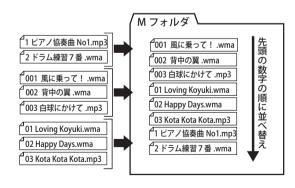
■ MYLIST1 ～ 5 ファイルについて

MUSIC フォルダには、あらかじめ 5 つのプレイリスト用ファイル（MYLIST1 ～ 5）が用意されています。MUSIC フォルダ内のファイルを各 MYLIST に登録することで、お好きな順番で再生することができます。

☞ **プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）（78 ページ）**

■ MUSIC フォルダのソート（並べ替え）について

MUSIC フォルダでは、フォルダ内にあるファイルのファイル名の先頭の数字によって、昇順（小さい順）に自動で並べ替えられます。

先頭の数字が「001 ～」、「01 ～」、「1 ～」と混在している場合は、「001 ～」が最も優先され、次に「01 ～」、「1 ～」の順に並べ替えられます。

編集する

インデックスを付ける / 消去する

インデックスを付けると、再生時に頭出し操作ができるため、聞きたい位置をすばやくさがすことができます。

☞ **インデックス送り / インデックス戻しをするには（61 ページ）**

インデックスを付ける

・ **MUSIC(M) フォルダ、LINE(L) フォルダ、ごみ箱（🗑）フォルダのファイル及び、タイマー録音中は、インデックスをつけることはできません。**

録音中、録音一時停止中または再生中に、インデックスを付けたい位置でフォルダ / インデックスボタンを押す

「インデックス記録中」と表示され、インデックスが記録されます。

・ インデックスを付けた後も、録音または再生は続きますので、同様の操作で別の箇所にインデックスをつけることができます。
・ インデックスをつけたファイルをファイル分割するとインデックスは消去されます。
・ インデックスは、最大 36 個までつけることができます。

インデックスを消去する

1 本機の電源を入れる
☞ 電源を入れる（32 ページ）

2 インデックスを消去するファイルがあるフォルダを選択する
☞ フォルダを切り換える（27 ページ）

3 ⏮/⏭ボタンを押して、インデックスを消去するファイルを選択する

4 消去ボタンを押す
【消去メニュー】が表示されます。

5 音量（+、−）ボタンを押して［インデックス］を選択し、再生 /OK ボタンを押す
【インデックス消去】画面が表示されます。

6 **⏮ / ⏭ボタンを押して、［実行］を選択する**

・ インデックスの消去を途中でやめる場合は、［取消］を選択してください。

【ｲﾝﾃﾞｯｸｽ消去】
081120_1200.MP3
ﾌｧｲﾙ内のｲﾝﾃﾞｯｸｽ
を消去します
取消 実行

7 **再生 /OK ボタンを押す**

「消去実行中」と表示された後、インデックスが消去され、基本画面に戻ります。

・ インデックスを消去しても音声は消去されません。
・ ファイル内に複数のインデックスが付けられている場合であっても、インデックスを個別に消去することはできません。ファイル内のインデックスはすべて一括で消去されます。

消去実行中

編集する

録音したファイルを分割する

本機で録音した 1 つのファイルを 2 つに分割することにより、不要部分のカットや必要部分を抜き出すことができます。

- MUSIC（M）フォルダ、ごみ箱（🗑）フォルダのファイルは、分割できません。
- ファイル分割するには、本体メモリ（または microSD カード）の空き容量が必要です。
- フォルダがいっぱいのときは、ファイル分割できません。

1 **分割したいファイルを再生します**

☞ **ファイルを再生する（58 ページ）**

2 **分割したい場所で停止ボタンを押す**

3 **メニュー / プレイリストボタンを押す**

メニュー画面が表示されます。

4 **音量（+、−）ボタンを押して［編集設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

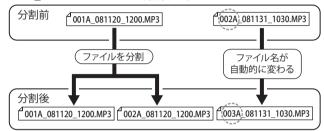
【編集設定】画面が表示されます。

5 **音量（+、−）ボタンを押して［ファイル分割］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**
【ファイル分割】画面が表示されます。

6 **⏮ / ⏭ボタンを押して、［実行］を選択する**
- ファイルの分割を途中でやめる場合は、［取消］を選択してください。

7 **再生 /OK ボタンを押す**
「ファイル分割 実行中」→「ファイル分割 完了 !」と表示され、ファイルが分割されます。
- 分割中は録音 LED が点滅します。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。
- インデックスをつけたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。
- ファイル分割した際、指定した場所から前後にずれが生じる場合があります。
- 本体メモリ（または microSD カード）の空き容量がない場合や、すでに 199 ファイル録音されているフォルダでは、ファイル分割できません。

■ファイル分割のしくみと分割後のファイル名の付き方

例：001A_081120_1200.MP3 ファイルを分割する。

001A_081120_1200.MP3 のファイルを分割すると、002A_081120_1200.MP3 のファイルが作成されます。ただし、フォルダ内に同じファイル番号のファイルが存在する場合は、分割後のファイルが優先され、もともとあったファイルのファイル番号が変更になります。例えば、ファイル名 001A_081120_1200.MP3 を分割すると 001A_081120_1200.MP3 と 002A_081120_1200.MP3 が作成され、フォルダ内に先に存在していた 002A_081131_1030.MP3 は 003A_081131_1030.MP3 にファイル番号が変更されます。

・ 分割した部分が前後のファイルで重複します。重複する時間と分割に必要なファイルの録音時間は下表の通りです。

録音モード		重複する時間	ファイル録音時間
MP3	32kbps	約 8 秒	約 16 秒以上
	64kbps	約 4 秒	約 8 秒以上
	128kbps	約 2 秒	約 4 秒以上
	192kbps	約 1 秒以下	約 2 秒以上
	320kbps		
PCM	44.1kHz		
	48kHz		

フェードイン / フェードアウト

本機で PCM 録音した WAV ファイルにフェードイン / フェードアウト効果を追加することができます。

フェードインは、ファイルの先頭の音量を少しずつ上げていき、フェードインします。
フェードアウトは、ファイルの最後の音量を少しずつ下げていき、フェードアウトします。

フェードイン / フェードアウト効果を追加したファイルは元に戻せません。効果を追加する前に、必ずパソコンにバックアップをとってください。

1 **本機の電源を入れる**

☞ **電源を入れる（32 ページ）**

2 **フェードイン（またはフェードアウト）するファイルがあるフォルダを選択する**

☞ **フォルダを切り換える（27 ページ）**

3 **⏮ / ⏭ボタンを押して、フェードイン（またはフェードアウト）するファイルを選択する。**

4 **メニュー / プレイリストボタンを押す**

メニュー画面が表示されます。

5 **音量（+、−）ボタンを押して［編集設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【編集設定】画面が表示されます。

6 **音量（+、−）ボタンを押して［フェードイン（またはフェードアウト）］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【フェードイン】（または【フェードアウト】）設定画面が表示されます。

7 **音量（+、−）ボタンを押してフェードイン（またはフェードアウト）させる時間を設定する**

・ 1 〜 8 秒の範囲で設定することができます。

8 **再生 /OK ボタンを押す**

「フェードイン実行中」（または「フェードアウト実行中」）と表示された後、【フェードイン完了】画面（または【フェードアウト完了】画面）が表示されます。

試聴　　：作成したファイルの冒頭部分（または末尾部分）を最長約 10 秒間試聴できます。

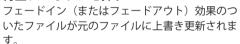
上書保存：フェードイン（またはフェードアウト）機能を確定します。**確定後は元の状態に戻すことはできません。**

取消　　：フェードイン機能を取消します。

9 **音量（＋ / −）ボタンを押して［試聴］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

フェードイン（またはフェードアウト）効果のついたファイルが再生されます。

10 **試聴した内容で OK であれば、音量（＋ / −）ボタンを押して［上書き保存］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

フェードイン（またはフェードアウト）効果のついたファイルが元のファイルに上書き更新されます。

- 試聴した後、ファイルを上書き保存しない場合は、音量（＋ / −）ボタンを押して［取消］を選択し、再生 /OK ボタンを押してください。

- フェードイン / フェードアウト機能は、本機で PCM 録音した WAV ファイルのみ使用できます。
- 10 秒以下のファイルにはフェードイン / フェードアウト機能は使えません。
- 本体メモリ（または microSD カード）に空き容量がない場合は、フェードイン / フェードアウトできません。

プレイリスト機能（MUSIC フォルダのみ）

本機にはあらかじめ MUSIC（M）フォルダ内に本機で編集できる 5 つのプレイリストファイル（MYLIST1 ～ 5.M3U）が用意されています。MUSIC（M）フォルダ内のお好みの曲を、お好みの順番で再生することができます。

- プレイリストに登録できるのは、MUSIC（M）フォルダ内のファイルのみです。
- MYLIST1 ～ 5 は削除することはできません。
- MYLIST はパソコンで編集しないでください。
- 1 つの MYLIST につき、99 ファイルが登録できます。

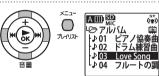
プレイリスト（MYLIST）にファイルやフォルダを登録する

1 MUSIC（M）フォルダを選択する

☞ フォルダを切り換える（27 ページ）

2 音量（＋ / －）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押してプレイリストへ登録したいファイルまたはフォルダを選択し、メニュー / プレイリストボタンを押す

【マイリストへ追加】画面が表示されます。

3 ⏮ / ⏭ボタンを押して、登録したいプレイリスト（MYLIST1 ～ 5 のいずれか）を選択し、再生 /OK ボタンを押す

選択したプレイリストにファイルまたはフォルダが登録されます。

プレイリスト（MYLIST）の再生順を変更する

プレイリストに登録されているファイルの再生順を変更します。

1 **フォルダ / インデックスボタンを押して、音量（＋ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンで［P1］〜［P5］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

選択したプレイリストがリスト表示されます。

2 **音量（＋ / −）ボタンを押して再生順を変更したいファイルを選択し、メニュー / プレイリストボタンを押す**

【マイリスト編集】画面が表示されます。

3 **音量（＋ / −）ボタンを押して［曲順変更］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（＋ / −）ボタンを押して選択したファイルを再生したい順番の位置に移動する**

選択中のファイルのアイコンが➡に変わります。

5 **再生 /OK ボタンを押す**

プレイリストの再生順が変更されます。

プレイリスト（MYLIST）のファイルを 1 件消去する

プレイリストに登録されているファイルの登録を消去します。

・ プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1 **フォルダ / インデックスボタンを押して、音量（＋ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンで消去したいファイルのあるプレイリスト［P1］〜［P5］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

選択したプレイリストがリスト表示されます。

2 **音量（＋ / −）ボタンを押して消去したいファイルを選択し、メニュー / プレイリストボタンを押す**

・ ここではファイル 01 を消去します。

3 **音量（＋ / −）ボタンを押して［消去］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **⏮ / ⏭ボタンを押して［実行］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

選択したファイルがプレイリストから消去されます。

・ ファイル 01 が消去され、MYLIST には 02 〜 04 のファイルのみ登録されています。

プレイリスト（MYLIST）のファイルを全件消去する

プレイリストに登録されている全てのファイルの登録を消去します。

・ プレイリスト内のファイルを消去しても、元となるファイルは消去されません。

1 **フォルダ / インデックスボタンを押して、音量（＋ / ー）ボタン、⏮ / ⏭ボタンで全件消去したいプレイリスト［P1］～［P5］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

選択したプレイリストがリスト表示されます。

2 **メニュー / プレイリストボタンを押す**

3 **音量（＋ / ー）ボタンを押して［一括消去］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **⏮ / ⏭ボタンを押して［実行］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

プレイリスト内の全てのファイルがプレイリストから消去され、“No File” と表示されます。

編集する

タイマー機能を使う

タイマー予約を設定する

あらかじめ設定した時間に、マイク録音をしたり、ファイルの再生や BEEP 音を鳴らしたりすることができます。
タイマー予約設定は、録音と再生で一部手順が異なります。
タイマー予約録音 / 再生の設定をします。

・ライン入力はタイマー予約できません。

☞ 電池の残量について（33 ページ）
☞ カレンダー（日時）を設定する（39 ページ）

1 本機の電源を入れ、停止中にメニュー / プレイリストボタンを押す

メニュー画面が表示されます。

2 音量（＋ / ー）ボタンを押して [共通設定] を選択し、再生 /OK ボタンを押す

【共通設定】画面が表示されます。

3 音量（＋ / ー）ボタンを押して [タイマー設定] を選択し、再生 /OK ボタンを押す

【タイマー】画面が表示されます。

4 音量（＋ / ー）ボタンを押して設定する項目を選択し、再生 /OK ボタンを押す

選択した項目の設定画面に移ります。各項目の設定方法は 83 ページ～ 85 ページを参照ください。

■タイマーの ON/OFF の設定

① 音量（＋ / －）ボタンを押して [ON] または [OFF] を選択する

OFF：タイマーを実行しません

ON：タイマーを実行します

② 再生 /OK ボタンを押す

■繰り返しの設定

① 音量（＋ / －）ボタンを押して [1 回]、[毎日]、[曜日指定] を選択する

1 回　　：指定時刻に一回だけ予約録音（再生）します

毎日　　：指定時刻に毎日予約録音（再生）します

曜日指定：指定した曜日の指定時刻に予約録音（再生）します

② 再生 /OK ボタンを押す

■曜日の設定（繰り返しの設定で「曜日指定」を選択した場合のみ）

① 音量（＋ / －）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して希望の曜日を選択し、再生 /OK ボタンを押してチェックを入れる

- 曜日は複数指定できます
- チェックを取り消す時はもう一度再生 /OK ボタンを押します

② 音量（＋ / －）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して [確定] を選択し、再生 /OK ボタンを押す

■開始時間の設定

① ⏮/⏭ボタンを押して開始時間の「時」:「分」を選択する

② 音量（＋ / －）ボタンを押して数値を変更する

・ AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です

③ 再生 /OK ボタンを押す

■終了時間の設定

① ⏮/⏭ボタンを押して終了時間の「時」:「分」を選択する

② 音量（＋ / －）ボタンを押して数値を変更する

・ AM12:00 は午前 0:00、PM12:00 は正午です
・ 開始時間から終了時間までの設定可能時間は最大 12 時間です

③ 再生 /OK ボタンを押す

■動作の設定

① 音量（＋ / －）ボタンを押して [再生] または [録音] を選択する

再生：タイマーの設定時刻になると、ファイルの再生を開始します

録音：タイマーの設定時刻になると、録音を開始します

② 再生 /OK ボタンを押す

■再生先の設定（動作の設定で「再生」を選択した場合のみ）

① 音量（+ / −）ボタンを押して [BEEP] または [ファイル再生] を選択する

BEEP：BEEP 音を鳴らします

ファイル再生：選択したファイルを再生します

- 「ファイル再生」を選択するとリスト画面（28 ページ）に切り換わります。再生したいファイル（プレイリスト内のファイルを除く）を選択してください。

② 再生 /OK ボタンを押す

■音質の設定（動作の設定で「録音」を選択した場合のみ）

① 音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して録音モードを選択する

- 録音シーンセレクト（45 ページ）やメニューの録音モード設定（103 ページ）とは関係なく、設定した音質でタイマー録音します。

② 再生 /OK ボタンを押す

■録音先の設定（動作の設定で「録音」を選択した場合のみ）

① 音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ボタンを押して録音するフォルダを選択する

- MIC_A_SD ～ MIC_D_SD へ録音する場合はあらかじめ本機に microSD カードをセットしてください

② 再生 /OK ボタンを押す

■タイマー設定の完了

① 音量（+ / −）ボタンを押して [完了] を選択する

② 再生 /OK ボタンを押す

・ 登録したタイマーの設定内容が確定し、【共通設定】画面に戻ります。

③ メニュー / プレイリストボタンを押す

・ 基本画面に戻ります。タイマー設定が ON になっている場合は、画面に が表示されます。

知っておくと便利です

・ カレンダー設定が初期化された場合、全てのタイマー設定は OFF になります。
・ タイマー再生でファイル再生を設定後に、選択したファイルを消去した場合や、セキュリティ設定を解除していない状態で本体メモリのファイルをタイマー再生した場合､タイマー設定時刻になるとファイル再生の代わりに BEEP 音が 30 秒間鳴ります。
・ 次のような場合は、タイマー予約録音（再生）が正しくできないことがあります。
  - 本体メモリ（または microSD カード）の残容量が少なく指定した時間分のタイマー予約録音ができない場合
  - microSD カードのファイル（再生）またはフォルダ（録音）を指定している状態で、microSD カードが入っていない場合
  - 録音ファイル数の上限を超えた場合
  - パソコンなどと接続していて、タイマー開始時刻になっても動作できない場合
  - タイマー録音中（再生中）に、電池 / 電源が切れた場合
・ 何らかの理由により、タイマーが動作しなかった場合は、 または と「タイマー動作が実行できませんでした」が表示されます。
  : 繰り返しの設定が「1 回」でタイマー録音に失敗した場合。タイマーは「OFF」になっています。
  : 繰り返しの設定が「毎日」､「曜日設定」でタイマー録音に失敗した場合。タイマーは継続して「ON」のままです。

消去する

ごみ箱機能について

ごみ箱機能を「ON」に設定すると、本機で消去したファイルはごみ箱（🗑）フォルダに移動されます。ごみ箱（🗑）フォルダの中のファイルは元に戻すことができるので、間違って消去した場合でも安心です。
お買い上げ時は、ごみ箱機能が「ON」に設定されています。ごみ箱機能を「OFF」に設定すると、ファイル、フォルダの消去を行なった場合、データは本体メモリ（または microSD カード）から消去され、元に戻すことができません。**誤消去防止のため、ごみ箱機能を「ON」にすることをおすすめします。**（☞ 126 ページ）

- **ごみ箱（🗑）フォルダの最大ファイル数は 199 ファイルです。ごみ箱に 199 ファイルある場合は、それ以上のファイルを削除できないため、ごみ箱（🗑）フォルダ内のファイルを元のフォルダ内に戻すか、ごみ箱フォルダを空にしてください。**
  ☞ごみ箱フォルダ内のファイルを元に戻す（89 ページ）
  ☞ごみ箱内のファイルを空にする（90 ページ）参照
- **M フォルダのファイルは、ごみ箱機能設定が「ON」「OFF」にかかわらず、ごみ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。**
- ごみ箱（🗑）フォルダにファイルが多くたまると、動作の低下をまねくおそれがあります。定期的にごみ箱を ” 空 ” にすることをおすすめします。
- ごみ箱機能が「ON」のときにファイルを削除しても、録音残時間表示は増えません。
- ごみ箱（🗑）フォルダにファイルを移動すると元のフォルダに作成されたインデックスは自動的に消去されます。
- 本体メモリまたは microSD カードをフォーマットした場合は、ごみ箱にあるファイルもすべて消去されます。
- ごみ箱機能を「OFF」にしても、ごみ箱（🗑）フォルダ内のファイルは消去されません。
- ごみ箱（🗑）フォルダは、リスト画面では「RECYCLE」と表示されます。

ごみ箱機能設定時のごみ箱フォルダの表示について

●ファイルがない時

●ファイルがある時

①ごみ箱フォルダ内のファイル番号
②消去前に保存されていたフォルダ
③消去前のファイル番号

ごみ箱に移動したファイルのファイル名について

ごみ箱に移動したファイルのファイル名は自動的に変更されます。

例 :MIC_A フォルダの “001A_081120_1200.MP3” のファイルをごみ箱に移動した場合

001_001 A _081120_1200.MP3

① ② ③ ④ ⑤ ⑥

①: ごみ箱内のファイル番号 *（001、002、003…というように、ごみ箱に移動された順番でつけられます）
②: ファイル番号（ごみ箱に移動する前のファイル番号です）
③: 元のフォルダ（A ～ D、L）
④: 日付（ファイルを録音した日付です）
⑤: 録音時刻（ファイルを録音開始した時点の時刻です）
⑥: 拡張子（ファイル形式です。MP3 録音した場合は MP3、PCM 録音した場合は WAV となります）

* 本機では表示されません。パソコンでのみ表示されます。

ごみ箱フォルダ内のファイルを元に戻す

1 **ごみ箱（🗑）フォルダを選択する**

☞ **フォルダを切り換える（27 ページ）**

2 **⏮ / ⏭ボタンを押して元に戻すファイルを選択し、消去ボタンを押す**

【ごみ箱】メニューが表示されます。

- ごみ箱内のファイルは、再生ボタンで再生することができます。

3 **音量（＋ / －）ボタンで［1 件戻す］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【ごみ箱から戻す】画面が表示されます。

4 **⏮ / ⏭ボタンで［実行］を選択する**

5 **再生 /OK ボタンを押す**

" ごみ箱からファイルを戻しています ..." と表示された後、" ＊の末尾にファイルを戻しました " と表示されます。（＊はフォルダ名が入ります）

- **ごみ箱内のファイルを元に戻した場合、ファイル名が変わり、元のフォルダの最後尾に復元されます。**
- 手順5で " ＊が一杯です。ファイルを戻せません " と表示された場合は元のフォルダのファイル数が制限数に達しています。ファイルを消去して空き容量を増やしてください。（＊はフォルダ名が入ります。）

ごみ箱内のファイルを空にする

ごみ箱を空にすると、ごみ箱内のファイルは完全にメモリから削除されます。元に戻すことはできないので、空にする前に必要なデータはパソコンや外部機器などに保存してください。

- **実行する前に、本体メモリと microSD カードのどちらが選択されているかを必ず確認してください。**
  ☞ 本体メモリと microSD カードを切り換える（30 ページ）

1 **89 ページの手順3で［空にする］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

2 **⏮ / ⏭ボタンで［実行］を選択し、再生 /OK ボタンを押す。**
" ごみ箱を空にしています ..." と表示され、ごみ箱が空になります。

- 基本画面で停止中に消去ボタンを押して、消去メニューからごみ箱を空にすることもできます。

1 件消去する（ファイル消去）

フォルダ内のファイルを 1 つ選んで消去することができます。

- ごみ箱機能がオフに設定されている場合（☞ 151 ページ）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去する前に、必ず録音内容を確認してください。
- M フォルダのファイルは、ごみ箱機能設定が「ON」「OFF」にかかわらず、ごみ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。
- 操作前に電池の残量が十分にあることを確認してください。
- **実行する前に、本体メモリと microSD カードのどちらが選択されているかを必ず確認してください。**
  ☞ 本体メモリと microSD カードを切り換える（30 ページ）

1 **本機の電源を入れる**
☞ 電源を入れる（32 ページ）

2 **リストボタンを押す**
リスト画面が表示されます。

3 **フォルダ / インデックスボタンを押し、消去したいファイルのあるフォルダに切り換える**

- ボタンを押すごとに、リスト表示のままフォルダが切り換わります。

4 音量（+ / −）ボタンを押して消去するファイルを選択する

5 消去ボタンを押す

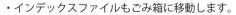
【ファイル消去】画面が表示されます。

6 ⏮ / ⏭ボタンを押して、［実行］を選択する

・ 消去を中止する場合は、［取消］を選択してください。

7 再生 /OK ボタンを押す

●ごみ箱機能がオンに設定されている場合
「消去実行中」の表示後､「ごみ箱に移しました」と表示され、ファイルがごみ箱に移動します。もう一度再生 /OK ボタンを押すと、基本画面に戻ります。

・インデックスファイルもごみ箱に移動します。

●ごみ箱機能が「OFF」に設定されている場合
「消去実行中」の表示後、ファイルが消去され基本画面に戻ります。

全件消去する（フォルダ消去）

フォルダ内の全ファイルを一括して消去することができます。

- ごみ箱機能がオフに設定されている場合（☞ 126 ページ）、一度消去した音声などは元に戻すことができません。消去する前に、必ず録音内容を確認してください。
- M フォルダのファイルは、ごみ箱機能設定が「ON」「OFF」にかかわらず、ごみ箱（🗑）フォルダに移動しません。本機から完全に消去されます。
- 操作前に電池の残量が十分にあることを確認してください。
- **実行する前に、本体メモリと microSD カードのどちらが選択されているかを必ず確認してください。**

  ☞ 本体メモリと microSD カードを切り換える（30 ページ）

1 **本機の電源を入れる**

☞ 電源を入れる（32 ページ）

2 **リストボタンを押す**

リスト画面が表示されます。

3 **⏮ / ⏭ボタン、音量（＋ / −）ボタンを押し、全件消去したいフォルダを選択する**

☞ リスト画面の操作（28 ページ）

4 **消去ボタンを押す**

【フォルダ消去】画面が表示されます。

5 **⏮ / ⏭ボタンを押して、［実行］を選択する**

・ 消去を中止する場合は、［取消］を選択してください。

【フォルダ消去】
MIC_A
ﾌｫﾙﾀﾞ内の
ﾌｧｲﾙを消去します
取消 実行

6 **再生 /OK ボタンを押す**

●ごみ箱機能が「ON」に設定されている場合
「消去実行中」の表示後､「ごみ箱に移しました」と表示され、ファイルがごみ箱に移動します。もう一度再生 /OK ボタンを押すと、基本画面に戻ります。

・インデックスファイルもごみ箱に移動します。

●ごみ箱機能が「OFF」に設定されている場合
「消去実行中」の表示後、ファイルが消去され基本画面に戻ります。

知っておくと便利です

・M フォルダのサブフォルダは消去できません。パソコンに接続してパソコン上で消去してください。

・ ファイル消去とフォルダ消去は、基本画面で停止中に消去ボタンを押して、消去メニューから実行することもできます。

本体（内蔵）メモリ /microSD カードを初期化する（フォーマット）

フォーマットを行うと、ごみ箱機能が「ON」の場合でも全てのファイルが完全に消去されます（本体（内蔵）メモリ /microSD カード初期化）。一度消去したファイルは元に戻すことができません。

消去前に必ず本体（内蔵）メモリ /microSD カード内の録音内容を確認してください。全データの消去前に、必要なデータはパソコンや外部機器にバックアップしてください。
（☞ 138、166 ページ）

- 全データを消去する前に電池の残量が充分にあることを確認してください。

1 **メニュー / プレイリストボタンを押す**
メニュー画面が表示されます。

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**
【共通設定】画面が表示されます。

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［フォーマット］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**
【フォーマット】画面が表示されます。

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して［内蔵メモリ］または［microSD カード］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 ⏮/⏭ボタンを押して［実行］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

フォーマット実行中⇒フォーマット完了！と表示され、本体（内蔵）メモリ（または microSD カード）内の全データを消去します。

- 消去を実行しないときは【取消】を選択し、決定ボタンを押します。
- 消去実行中は、取り消しはできません。
- フォーマット中に microSD カードや電池を抜かないでください。
- フォーマット中は、録音 LED が点滅します。

メニューボタンを押してメニューを終了する

メニューについて

メニュー操作のしかた

メニュー画面で本機の設定を変更したり、本機の機能を使うことができます。
ここでは、基本的なメニュー設定の操作について説明します。
例 : 録音モードを変更する場合

1 **本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す**
メニュー項目が表示されます。

2 **メニュー項目を選択する**
音量（＋ / －）ボタンを押してメニュー項目を選択し、再生 /OK ボタンを押します。
ここでは［録音設定］を選びます。

3 **設定項目を選択する**
音量（＋ / －）ボタンを押して設定項目を選択し、再生 /OK ボタンを押します。
ここでは［録音モード］を選びます。
設定する内容は、設定項目により異なります。

4 **設定内容を変更する**
⏮ / ⏭ボタン、音量（＋ / －）ボタンを押して設定項目を選択し、再生 /OK ボタンを押します。
ここでは「MP3:128kbps」を選びます。

5 **メニュー / プレイリストボタンを押す**
メニュー操作を終了します。
これで設定は完了です。

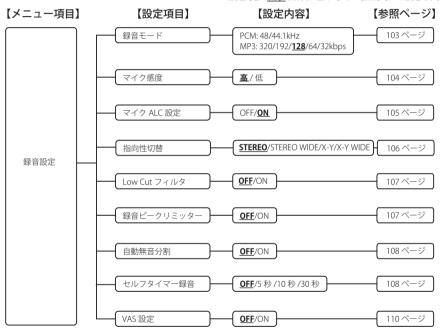
メニュー一覧

■停止中メニュー

基本画面で停止中にメニュー / プレイリストボタンを押す

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

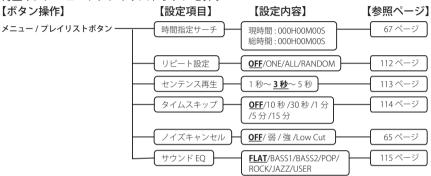
【メニュー項目】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
録音設定	録音モード	PCM: 48/44.1kHz MP3: 320/192/**128**/64/32kbps	103 ページ
	マイク感度	**高** / 低	104 ページ
	マイク ALC 設定	OFF/**ON**	105 ページ
	指向性切替	**STEREO**/STEREO WIDE/X-Y/X-Y WIDE	106 ページ
	Low Cut フィルタ	**OFF**/ON	107 ページ
	録音ピークリミッター	**OFF**/ON	107 ページ
	自動無音分割	**OFF**/ON	108 ページ
	セルフタイマー録音	**OFF**/5 秒 /10 秒 /30 秒	108 ページ
	VAS 設定	**OFF**/ON	110 ページ

※設定内容の**太字**はお買い上げ時（工場出荷時）の設定です。

【メニュー項目】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
再生設定	時間指定サーチ	現時間 : 000H00M00S 総時間 : 000H00M00S	67 ページ
	リピート設定	**OFF**/ONE/ALL/RANDOM	112 ページ
	センテンス再生	1 秒～ **3 秒**～ 5 秒	113 ページ
	タイムスキップ	**OFF**/10 秒 /30 秒 /1 分 /5 分 /15 分	114 ページ
	ノイズキャンセル	**OFF**/ 弱 / 強 /Low Cut/	65 ページ
	サウンド EQ	**FLAT**/BASS1/BASS2/POP/ ROCK/JAZZ/USER	115 ページ
編集設定	ファイル分割	**取消** / 実行	72 ページ
	フェードイン	1 秒～ **4 秒**～ 8 秒	75 ページ
	フェードアウト	1 秒～ **4 秒**～ 8 秒	75 ページ
共通設定	BEEP 音設定	OFF/ **音声ガイド** / 警告音 （音量設定※1: 音量大 / **音量中** / 音量小）	121 ページ
	録音 LED	OFF/**ON**	122 ページ
	カレンダー設定	年 / 月 / 日 /24h または AM/PM/ 時 / 分※2	39 ページ

※1 音声ガイドまたは警告音設定時のみ音量が設定できます。
※2 お買い上げ時（工場出荷時）は 2008 年 11 月 1 日 24H 0 時 00 分に設定されています。

【メニュー項目】	【設定項目】	【設定内容】	【参照ページ】
共通設定	タイマー設定	設定 : **OFF**/ON 繰返し : **1 回** / 毎日 / 曜日指定 開始 : AM12:00 終了 : AM12:00 動作 : **録音** / 再生 音質（MP3）32/64/**128**/192/320kbps （PCM）44.1/48kHz 録音先 :MIC_**A** ～ D/MIC_A_SD ～ D_SD 再生先 : **BEEP**/ ファィル再生 完了	82 ページ
	電池切換	**エネループ** / アルカリ電池	122 ページ
	オートパワーオフ	OFF（0）～ **15** 分	123 ページ
	バックライト	OFF/5 秒 /**15 秒** / 常時 ON	123 ページ
	コントラスト	（淡）1 ～ **5** ～ 10（濃）	124 ページ
	セキュリティ設定	暗証番号 : **0000**	124 ページ
	ごみ箱機能	OFF/**ON**	126 ページ
	フォーマット	**内蔵メモリ** /microSD カード	95 ページ
	メニュー初期化	**取消** / 実行	127 ページ
	バージョン	バージョンの表示	127 ページ

■再生中メニュー

再生中にメニュー / プレイリストボタンを押す

■消去メニュー

停止中に消去ボタンを押す

■ごみ箱メニュー

ごみ箱フォルダで消去ボタンを押す

■プレイリスト編集メニュー

プレイリスト（MYLIST）内をリスト表示中にメニュー / プレイリストボタンを押す

■録音シーンセレクト編集メニュー

録音シーンセレクト画面でメニュー / プレイリストボタンを押す

【ボタン操作】　【設定項目】　【参照ページ】

メニュー / プレイリストボタン

録音モード
マイク感度
ALC 設定
指向性切替
LowCut
録音ピークリミッタ
自動無音分割
セルフタイマー録音
VAS 設定
登録

118 ページ

■録音スタンバイ中メニュー

録音スタンバイ中にメニュー / プレイリストボタンを押す

録音に関するメニュー設定（録音設定）

録音モードを切り換える

マイク録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質をお選びいただけます。

1 **本機の電源を入れ、基本画面でメニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（＋ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（＋ / −）ボタンを押して［録音モード］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **⏮ / ⏭ボタン、音量（＋ / −）ボタンを押して［録音モード］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

PCM	48kHz	高音質録音 ↑
	44.1kHz	
MP3	320kHz	
	192kbps	
	128kbps	標準音質
	64kbps	↓ 長時間録音
	32kbps	

- PCM は音声データをすべて非圧縮で記録し、MP3 は圧縮して記録します。音質を高めるとデータサイズは大きくなり録音できる時間はそれだけ短くなります。音質を優先するか、録音時間を優先するかを考え、目的に合った録音モードをお選びください。

☞ **録音モードと録音可能時間（168 ページ）**

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- 選んだ録音モードが画面に表示されます。

128kbps の場合

マイク感度を切り換える

録音状況に応じて、マイクの感度を切り換えることができます。
録音した音声が小さい場合や大きすぎる場合は、マイク感度を切り換えて調整してください。

1 **本機の電源を入れ、基本画面でメニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［録音設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［マイク感度］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して［感度：高］または［感度：低］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

高：録音した音声が小さすぎる場合は高に設定してください。
低：録音した音声が大きすぎる場合は低に設定してください。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- マイク感度の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。

マイク感度 高：
マイク感度 低：

- マイク感度は、マイク録音時のみ有効になります。

マイク ALC 設定を切り換える

会議や人の声を録音するときは ALC をオンに、楽器演奏や自然の音など、手動で録音レベルを調整して録音するときは ALC をオフに設定してください。

ALC 設定	ALC オン	ALC オフ
特長	大きい音は少し小さく、小さい音は少し大きく録音します。音割れや歪みを抑え、聞き取りに適した音声録音を行います。	音の大小をそのまま録音し、原音に忠実な音声録音を行います。
主な使用場面	会議や商談、講演やインタビューなど	楽器演奏など

1 **本機の電源を入れ、基本画面でメニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［マイク ALC 設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（+ / −）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

OFF: ALCをオフにします。
ON: ALCをオンにします。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- ALC の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。

- マイク ALC を「OFF」に設定すると、マイク感度のアイコンの下に現在の録音レベルが表示されます。（「ON」に設定されているときは何も表示されません。）
- マイク ALC は、マイク録音時のみ有効になります。
- マイク ALC を「OFF」に設定すると、録音スタンバイ状態で「マイク感度」、「指向性切替」、「Low Cut フィルタ」、および「録音 EQ」が設定できます。

マイクの指向性を切り換える

本機は、無指向性のステレオマイクと X-Y 指向性の X-Y マイクを内蔵しており、録音シーンに合わせて、切り換えて使用することができます。

	ステレオ	ステレオワイド	X-Y	X-Y ワイド
マイクタイプ	無指向性マイク	無指向性マイク	X-Y マイク	X-Y マイク
ステレオワイド機能	OFF	ON	OFF	ON
特長	全方向にバランスよく録音できます。	ステレオ感を強調して録音できます。	中抜けのない自然なステレオ感で録音します。	広がりのあるステレオ感で録音します。
使用用途	・口述録音 ・少人数での会議	・対談、インタビュー	・室内での音楽練習 ・スタジオ録音	・ホール演奏

1 **本機の電源を入れ、基本画面でメニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［指向性切替］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **⏮ / ⏭ボタンボタンを押してお好みのマイク指向性を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

・ボタンを押すごとに、「STEREO」→「STEREO WIDE」→「X-Y」→「X-Y WIDE」→「STEREO」…の順で切り換わります。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

・マイク指向性の設定を切り換えると画面のアイコンが変わります。

: STEREO
: STEREO WIDE
: X-Y
: X-Y WIDE

Low Cut フィルタを設定する

録音時に低い周波数の音を減衰させ、クリアな音を録音します。会議録音で気になる空調設備の音などを低減したい時に効果的です。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（＋ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（＋ / −）ボタンを押して［Low Cut フィルタ］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 音量（＋ / −）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

Low Cut フィルタ表示

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

・ Low Cut フィルタをオンに設定すると画面にアイコンが表示されます。

録音ピークリミッターを設定する

突然の過大入力を自動で調整し、音の歪みを抑えて録音することができます。

・ マイク ALC の設定が「OFF」のときのみ有効です。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（＋ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（＋ / −）ボタンを押して［録音ピークリミッター］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 音量（＋ / −）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

自動無音分割を設定する

CD や MD プレーヤーなどからライン入力で音楽を録音するときに自動無音分割を設定すると、2 秒以上の無音部分を感知して、録音を一時停止し、1 曲目をファイル 1、2 曲目をファイル 2 というように自動的にファイルを分割して録音します。

- ライン入力の MP3 録音時のみ有効です。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量(+ / −)ボタンを押して[録音設定]を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量(+ / −)ボタンを押して[自動無音分割]を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 音量(+ / −)ボタンを押して[OFF]または[ON]を選択し、再生 /OK ボタンを押す

【自動無音分割】
OFF
ON
※LINEのMP3録音時のみ有効です

自動無音分割表示
MP3 128 k
AD
A
1/2
0M 00S
録音残時間
35H 25M 45S
FLAT

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- 自動無音分割を「ON」に設定すると、画面にアイコンが表示されます。

セルフタイマーで録音する

本機のマイク録音時、録音ボタンを押してから録音を開始するまでの時間をお好みで設定できます。楽器の練習等、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量(+ / −)ボタンを押して[録音設定]を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量(+ / −)ボタンを押して[セルフタイマー録音]を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 音量(+ / −)ボタンを押してセルフタイマーの設定時間を選択し、再生 /OK ボタンを押す

OFF:　セルフタイマーを設定しません。
5 秒 :　録音ボタンを押した 5 秒後に録音を開始します。
10 秒 : 録音ボタンを押した 10 秒後に録音を開始します。
30 秒 : 録音ボタンを押した 30 秒後に録音を開始します。

5 **メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する**
基本画面に戻ります。

6 **録音ボタンを押す。**
セルフタイマー待機画面が表示され、設定した時間のカウントダウンが始まります（録音 LED が「ON」に設定されているときは、録音 LED が点滅します）。

・ 録音シーンセレクトで音楽を選択している場合、または ALC が「OFF」に設定されている場合は、「録音スタンバイモード」になります。録音レベルを調整した後、再度録音ボタンを押してください。セルフタイマー待機画面となり、設定時間のカウントダウンが始まります。

手順4で設定した時間が経過すると、録音を開始します。

・ 一度セルフタイマー録音を開始すると、セルフタイマーの設定を「OFF」にするか、メニューの初期化を行うまで、設定は保存されます。
☞ **メニューを初期化する（127 ページ）**
・ カウントダウン中に［停止 / 戻る］を押すと、セルフタイマー録音をキャンセルできます。キャンセルした場合は、もう一度［録音 / 一時停止］を押すとカウントダウンが始まります。

VAS を設定する

VAS を「ON」に設定すると、録音状態で音声を感知したときに自動的に録音を開始し、音声が一定レベル以下になると録音が自動的に一時停止（録音待機）します。

- マイク ALC が「OFF」に設定されている場合、VAS 録音はできません。
- VAS 設定「ON」で録音中に、一時停止（録音待機）になっても、オートパワーオフ機能は働きません。
  ただし、VAS 録音中に録音ボタンを押す（一時停止）と、通常の録音一時停止状態になります。（オートパワーオフを「ON」に設定しているときは、設定された時間の経過後に自動的に電源が切れます。）
- ライン録音時は、VAS は設定できません。
- 小さな音の場合は録音しないことがありますので、大切な録音をするときは、この機能を「OFF」に設定してください。
- Low Cut フィルタを「ON」に設定すると低域の音がカットされるため、正しく録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを「OFF」に設定してください。

1 **本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［録音設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［VAS 設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（+ / −）ボタンを押して［OFF］または［ON］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

OFF:
VAS をオフにします。
ON:
VAS をオンにします。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- VAS を「ON」に設定すると、画面にアイコンが表示されます。

VAS 表示

基本画面で録音ボタンを押す

音声を感知すると自動的に録音が始まります。音声を感知できない場合は、一時停止（録音待機）になり、経過時間と VAS 表示が点滅し、一時停止状態になります。

・ 停止 / 戻るボタンを押すと録音停止状態になります。

■音声感知レベルの調整

VAS 設定 ON で録音中に|◀◀ / ▶▶|ボタンを押すと、録音感知レベルを調整できます。

録音感知レベル

・ 1 ～ 5 段階に調整できます。（お買い上げ時は 3 に設定されています。）
・ 数値が高くなるほど小さな音を感知して録音を開始しますが、雑音の多い場所では、録音が一時停止しない場合があります。

再生に関するメニュー設定（再生設定）

リピート設定を切り換える

ファイルをリピート再生（繰り返し再生）することができます。１ファイルを何度も繰り返したり、フォルダ内のファイルを順に再生したり、ランダムに再生したり、いろいろなリピート再生を選択することができます。

1 本機の電源を入れ（または再生中に）、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（＋ / －）ボタンを押して［再生設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（＋ / －）ボタンを押して［リピート設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 音量（＋ / －）ボタンを押してリピートモードを選択し、再生 /OK ボタンを押す

OFF: リピート再生をオフにします。
ONE:
選択中のファイルを繰り返し再生します。
ALL:
フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）
RANDOM:
フォルダ内のすべてのファイルを順不同に並べ換えて繰り返し再生します。（フォルダをまたがっての再生はできません）

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- リピートを設定すると画面にアイコンが表示されます。

アイコン	モード
1	ONE
	ALL
RND	RANDOM

リピート表示

ファイルを再生すると、設定されているリピートモードで再生を開始します。

- リピート再生を中止するときは、リピートモードの設定で「OFF」を選択してください。

センテンス（少し戻り）再生間隔を設定する

再生中のファイルを設定した秒数だけ戻して再生できる機能です。音楽の短いフレーズや、重要な音声を聞き逃したときなどに便利です。

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / ー）ボタンを押して［再生設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / ー）ボタンを押して［センテンス再生］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（+ / ー）ボタンを押してセンテンス再生する時間を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

1 秒～ 5 秒の範囲で 1 秒単位で設定できます。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

再生中に再生 /OK ボタンを押すとセンテンス再生をします。

☞ **センテンス再生を行う（66 ページ）**

タイムスキップを設定する

再生中のファイルをあらかじめ設定した時間だけスキップして再生することができます。
同じ箇所を繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりする時に便利です。

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［再生設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［タイムスキップ］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（+ / −）ボタン、⏮ / ⏭ ボタンを押してタイムスキップする時間を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

OFF: タイムスキップ機能をオフにします。
10 秒 :10 秒ごとにタイムスキップします。
30 秒 : 30 秒ごとにタイムスキップします。
1 分 : 1 分ごとにタイムスキップします。
5 分 : 5 分ごとにタイムスキップします。
15 分 : 15 分ごとにタイムスキップします。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

• タイムスキップを設定すると画面にアイコンが表示されます。

タイムスキップ表示

☞ **タイムスキップ（送り / 戻し）するには（61 ページ）**

サウンド EQ を設定する

サウンド EQ を設定することにより、お好みの音質で音楽をお楽しみいただけます。

・ サウンド EQ は、ステレオヘッドホン再生時のみ有効となります。

■サウンド EQ モードを選択する

あらかじめプリセットされている「FLAT」、「BASS1」、「BASS2」、「POP」、「ROCK」、「JAZZ」の 6 種類のサウンド EQ モードと、5 バンドのサウンドレベルを自由に設定できる「USER」から選択することができます。プリセットサウンドの特徴は、以下のとおりです。

FLAT	BASS1	BASS2	POP	ROCK	JAZZ
「サウンド EQ」機能を使わず、原音のまま再生します。	低音域をやや強調します。	低音域をより強調します。	高音域をより強調します。	低音域と高音域をやや強調します。	中音域を強調します。

・ 「USER」の出荷時の設定は、「FLAT」と同様です。

・ プリセットされている 6 種類のサウンド EQ モードは、設定内容の変更（調整）はできません。

・ 細かい設定内容の変更を行いたい場合は、「USER」を選択してください。

☞ **サウンド EQ をお好みの音質に設定する（116 ページ）**

1 **本機の電源を入れ（または再生中に）、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［再生設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［サウンド EQ］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **⏮ / ⏭ボタンを押してお好みのサウンド EQ モードを選択し、再生 /OK ボタンを押す**

6 つのプリセットサウンド EQ モードと、「USER」から選択できます。

- 「USER」を選択した場合は、「■サウンド EQ をお好みの音質に設定する」に進み、設定してください。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- 設定したサウンド EQ モードが画面に表示されます。

EQ モード表示

■サウンド EQ をお好みの音質に設定する（USER 選択時のみ）

サウンド EQ で「USER」を選択している場合、サウンド EQ の 5 バンドの各レベルを自由に設定することができます。

1 **サウンド EQ 設定で USER を選択する**

2 **音量（−）ボタンを押す**

150Hz 帯が黒色バー表示になり、選択されます。

3 **⏮ / ⏭ボタンを押して、変更したい周波数帯を選ぶ**

選択している周波数帯が黒色バー表示になります。

- 「150H z」、「500H z」、「1k H z」、「4kHz」、「12kHz」の周波数帯の調整ができます。

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して、選択した周波数帯のレベルを調整する**

－ 12dB ～ 12dB（25 段階）まで、 1 dB ごとに調整できます。dB の数字が大きいほど強調されます。

- 音量（＋）を押すとレベルが大きくなります。
- 音量（－）ボタンを押すとレベルが小さくなります。
- **他の周波数を変更する場合は手順3と手順4の操作を繰り返してください。**
- **途中で設定を中止するときは、停止 / 戻るボタンを押してください。手順1の画面に戻ります。**

5 **再生 /OK ボタンを押す**

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

録音シーンセレクト機能を設定する

本機にあらかじめプリセットされている録音シーンの設定をお好みで編集したり、お気に入り 1 〜 3 にお好みの設定を登録したりすることができます。
設定が変更できる項目と、本機にあらかじめプリセットされている設定は、以下の通りです。

項目	口述	会議	講義	音楽	お気に入り 1 〜 3
録音モード	MP3: 64kbps	MP3: 128kbps	MP3: 128kbps	PCM: 48kHz	MP3: 128kbps
マイク感度	低	高	高	高	高
マイク ALC 設定	ON	ON	ON	OFF	ON
指向性切替	STEREO	STEREO	X-Y	X-Y	STEREO
LowCut フィルタ	ON	ON	ON	OFF	OFF
録音ピークリミッター	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
自動無音分割	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
セルフタイマー録音	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF
VAS 設定	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

録音シーンの設定を変更する

本機にプリセットされている録音シーンの設定を変更します。変更した設定は、そのまま保存されます。

1 本機の電源を入れる

☞ 電源を入れる（32 ページ）

2 シーン /AB リピートボタンを押す

現在、選択されている録音シーンが表示されます。

3 ⏮ / ⏭ボタンを押して設定を変更したい録音シーンを選択する

- 「OFF」は設定の変更ができません。
- ここでは「口述」を選択しています。

4 メニュー / プレイリストボタンを押す

録音シーン設定画面が表示されます。

5 音量（+ / −）ボタンを押して設定を変更する項目を選択する

・ ここでは「マイク感度」を選択しています。

6 再生 /OK ボタンを押す

選択した項目の設定画面が表示されます。

7 設定を変更する

手順4で選択した項目によって設定の方法がそれぞれ異なりますので、設定の方法については、以下のページを参照してください。

☞ **録音モード（103 ページ）**
☞ **マイク感度（104 ページ）**
☞ **マイク ALC 設定（105 ページ）**
☞ **指向性切替（106 ページ）**
☞ **LowCut フィルタ（107 ページ）**
☞ **録音ピークリミッター（107 ページ）**
☞ **自動無音分割（108 ページ）**
☞ **セルフタイマー録音（108 ページ）**
☞ **VAS 設定（110 ページ）**

続けて、他の項目の設定を変更する場合は、手順4～7を繰り返してください。

8 音量（+ / −）ボタンを押して［登録］を選択し、再生 /OK ボタンを押す。

設定変更した内容が、録音シーンに上書きされ、録音シーンセレクト画面に戻ります。

・ **必ず、［登録］を選択し、再生 /OK ボタンを押してください。変更した設定が反映されません。**

シーン /AB リピートボタンを押して基本画面に戻る

録音シーンの設定を元に戻す

変更した録音シーンの設定を元に戻す（初期化）ことができます。

1 **本機の電源を入れる**
☞ 電源を入れる（32 ページ）

2 **シーン /AB リピートボタンを長押し（2 秒以上）する**
【設定初期化】画面が表示されます。

3 **⏮ / ⏭ボタン、音量（+ / −）ボタンを押して設定を元に戻したい録音シーンを選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【設定初期化】画面が表示されます。
- すべての録音シーンの設定を元に戻したい場合は、［ALL］を選択してください。

4 **⏮ / ⏭ボタンを押して［実行］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

選択した録音シーンの設定が元に戻り（初期化）、基本画面に戻ります。

その他のメニュー設定（共通設定）

音声ガイド /BEEP 音を設定する

ボタン操作時の BEEP 音（ビープ : ピピピピッ）や音声ガイドを設定したり、鳴らないようにしたりすることができます。

1 **本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（＋ / －）ボタンを押して［BEEP 音設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（＋ / －）ボタンを押して［OFF］、［音声ガイド］または［警告音］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【BEEP 音設定】
OFF
音声ガイド
警告音

OFF: ボタン操作時に音声ガイド、BEEP 音を鳴らしません。
音声ガイド : ボタン操作時に音声ガイドと BEEP 音を鳴らします。
警告音 : ボタン操作時に BEEP 音を鳴らします。

5 **［音声ガイド］、［警告音］を選択した場合は、音量（＋ / －）ボタンを押してお好みの音量を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

録音 LED を設定する

録音時、録音 LED を点灯しないように設定することができます。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［録音 LED］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 音量（+ / −）ボタンを押して「OFF」または「ON」を選択し、再生 /OK ボタンを押す

OFF: 録音時、録音 LED が点灯しません。
ON: 録音時、録音 LED が点灯します。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

使用する電池の種類を切り換える

使用する電池の種類（エネループ充電池、またはアルカリ乾電池）を設定します。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［電池切換］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 音量（+ / −）ボタンを押して使用している電池の種類を選択し、再生 /OK ボタンを押す

e: エネループ
A: アルカリ乾電池

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- 設定した種類と異なる電池を使用すると、電池残量などが正しく表示されません。

オートパワーオフを設定する

電源オン状態で、設定した時間、本機を使用しなかった場合、自動的に電源が切れる機能です（録音中、VAS 録音で一時待機中、再生中を除く）。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（＋ / －）ボタンを押して［オートパワーオフ］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 ⏮ / ⏭ボタンを押してオートパワーオフ機能がはたらく時間を選択し、再生 /OK ボタンを押す

OFF（0）～ 15 分（15）

- 1 分単位で設定できます。
- OFF に設定するとオートパワーオフ機能ははたらきません。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

画面のバックライトを設定する

ボタンを押したときの画面のバックライトの設定を変更します。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（＋ / －）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（＋ / －）ボタンを押して［バックライト］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 音量（＋ / －）ボタンを押して［ON］または［OFF］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

OFF: 点灯しません
5 秒 : 5 秒間点灯
15 秒 : 15 秒間点灯
常時 ON: 常時点灯

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

- お買い上げ時は、15 秒に設定されています。
- 電池残量が少ない場合は、バックライトが点灯しないことがあります。

画面のコントラストを調整する

画面のコントラストを調節します。
調整は 10 段階で設定できます。

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［コントラスト］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

4 ⏮、⏭ボタンを押してコントラストの濃淡を調整し、再生 /OK ボタンを押す

表示調整 : 1（淡）〜 10（濃）

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

セキュリティを設定する（本体メモリのみ）

本機に暗証番号を設定し、ファイルの再生を制限することができます。
（録音や消去はセキュリティ設定に関わらず自由にできます。）

- セキュリティを設定すると、本機をパソコンに接続したとき、パソコンの画面上でセキュリティを設定したフォルダを見ることはできません。
- 暗証番号を忘れてしまうとファィルを再生または使用できなくなるため、暗証番号は必ずメモに記録するなどして、大切に保管してください。暗証番号の解読や解除など、当社では一切できません。

本機の盗難、紛失、または詐取等により、個人情報が第三者に漏えいするおそれがあります。第三者に個人情報が漏えいしたために損害が生じた場合、当社はその責任を負いません。また、本機を使用されたこと、あるいは使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、当社はその責任を負いません。

■暗証番号を設定する

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 音量（+ / −）ボタンを押して［セキュリティ設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

【セキュリティ設定】画面が表示されます。

4 暗証番号を入力する

①⏮/⏭ボタンを押して桁を選び、音量（+ / −）ボタンで数字を変更する

【セキュリティ設定】
暗証番号入力
0000

②再生 /OK ボタンを押す

・ 暗証番号は、メモに記録するなどして、忘れないようにしてください。

5 ⏮、⏭ボタンを押して［実行］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

【セキュリティ設定】
暗証番号 : 0000
メモに記録するなど
大切に保管下さい
取消 実行

セキュリティが設定（再生ロック）され、【共通設定】画面に戻ります。

・ セキュリティを設定すると画面にアイコンが表示されます。

セキュリティ表示

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

・ セキュリティ設定とアイコン表示

セキュリティ設定	再生ロック中	再生ロック解除
アイコン	🔒	🔓

以降、ファイルを再生する際や、一部のメニューを設定する際に、暗証番号の入力を要求されますので、設定した暗証番号を入力し、再生 /OK ボタンを押して再生ロックを解除してください。

■セキュリティ設定を解除する

1 本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す

2 音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［セキュリティ解除］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

【セキュリティ解除】画面が表示されます。

4 **設定されている暗証番号を入力する**

⏮ / ⏭ボタンを押して数字を選し、音量（+ / −）ボタンで数字を変更する

【セキュリティ解除】
暗証番号入力
0000

5 **再生 /OK ボタンを押す**

セキュリティが設定が解除され、【共通設定】画面に戻ります。

- セキュリティを設定すると画面に表示されていたアイコンが消えます。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

再度、セキュリティ設定を行なう場合は、暗証番号を設定しなおしてください。

- 暗証番号が分からなくなったときはフォーマットしてください。セキュリティ設定が解除され、暗証番号がお買い上げ時の「0000」になります。なお、フォーマットすると、本体メモリ内のデータは完全に消去されます。☞ **（95 ページ）**

ごみ箱機能を設定する

ごみ箱機能を無効（OFF）にして消去したファイルは、元に戻すことができません。**通常は、誤消去防止のため有効（ON）に設定しておくことをおすすめします。**

1 **本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［ごみ箱機能］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（+ / −）ボタンを押して［ON］または［OFF］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

OFF: ごみ箱機能が無効になります。
ON : ごみ箱機能が有効になります。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

メニューを初期化する

本機の設定を初期化すると、メニュー設定（カレンダー設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。

- メニューを初期化しても本体メモリ、microSD カード内のデータは消去されません。また、セキュリティ設定も解除されません。

1 **本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［メニュー初期化］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

4 **音量（+ / −）ボタンを押して［実行］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

設定メニューの初期化が行われます。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

バージョンを確認する

本機ファームウェアのバージョンを確認することができます。

1 **本機の電源を入れ、メニュー / プレイリストボタンを押す**

2 **音量（+ / −）ボタンを押して［共通設定］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

3 **音量（+ / −）ボタンを押して［バージョン］を選択し、再生 /OK ボタンを押す**

ファームウェアのバージョンが表示されます。

メニュー / プレイリストボタンを押してメニューを終了する

パソコンでお使いになる前に

動作環境の確認

動作環境

本機は以下のパソコン環境で動作します。

対応機種	Windows 標準搭載パソコン
対応 OS （日本語版）	Windows Vista Windows XP Windows 2000 Professional (SP3 以降)
USB 端子	本製品接続時に 1 つ必要
その他	スピーカーまたはヘッドホンが必要 サウンド再生機能を搭載のパソコン

● Windows Media Player について

お使いの OS に対応した、以下のいずれかの Windows Media Player をお使いください。

Windows Media Player11	Windows Vista / Windows XP
Windows Media Player10	Windows XP
Windows Media Player9	Windows 2000 Professional (SP3 以降)

※上記以外の Windows Media Player での動作保証はいたしません。
※上記は 2008 年 11 月現在での動作環境です。

最新の Windows Media Player は、以下の URL から入手してください。
http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/download/default.aspx
☞ Windows Media Player のバージョンを確認する（130 ページ）

- Macintosh など Windows を搭載していないパソコンや、自作パソコンでは動作保証いたしません。
- 以下の環境での動作保証はいたしません。
  -Windows 各 OS からのアップグレード環境
  -Windows95、Windows NT、Windows98、Windows98SE、Windows Me
  -Windows 各 OS のデュアルブート環境
- 推奨環境すべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- ご利用の環境によっては、スタンバイ、サスペンド※などのモードが正常に動作しない場合があります。その場合は、本機使用時にはそれらのモードを使用しないでください。
- Windows Vista/XP/2000 をお使いの場合、管理者権限（Administrators）のユーザにてご使用ください。
- Windows 2000 以降で導入された「ダイナミック ディスク」には動作保証していません。

※サスペンド：
CPU、LCD、HDD などを停止し、電力消費量を極限まで減らしている状態。スリープと異なり、CPU は停止しているが ROM への電力供給はされている状態。

■パソコン接続時のご注意

- **本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に則ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。****（☞ 24 ページ）**
- microSD カードのフォーマットは必ず本機側で行ってください。パソコンでフォーマットを行うと、以降の録音が正常に行われなくなることがあります。
- パソコンでフォーマットしてしまった場合は、再度本機でフォーマットしてください。（☞ 95 ページ）
- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用 USB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

Windows Media Player のバージョンを確認する

お使いのパソコンのメーカーや OS のバージョンにより、お客さまのパソコン表示画面と本書掲載画面とが一致しない場合があります。本書の説明で使用する画面は、Windows XP/ Windows Media Player 11 となります。その他のバージョンの OS/Windows Media Player をお使いの場合は、当社サポート HP をご覧ください。
http://www.sanyo-audio.com/support/icr/guide.html

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム］-［Windows Media Player］を選択して、Windows Media player を起動する

2 メニューバーが表示されている場合は、［ヘルプ］-［バージョン情報］をクリックする

メニューバーが表示されていない場合は、手順1の Windows Media Player を起動した状態で、キーボードの［Ctrl］キーを押しながら［M］を押すとメニューバーが表示されます。

3 [バージョン] の右側に表示されている数字を確認する

一番左のケタ番号が、お使いの Windows Media Player のバージョンです。

9.XX.XX ⇒　バージョン 9
10.XX.XX ⇒ バージョン 10
11.XX.XX ⇒ バージョン 11

7.XX…、8.XX…と表記されているバージョンは動作保証致しません。

パソコンでできること

パソコンを使ってこんなことができます。

■パソコンを使って充電する
本機をパソコンに接続して、エネループを充電することができます。

■録音した音声ファイルをパソコンに保存する
本機で録音した音声ファイルをパソコンにバックアップできます。

■パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す
本機からパソコンにバックアップした音声ファイルを、もう一度本機に戻して聞くことができます。

■音声ファイルを CD-R/RW にコピーする
本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。

■音声ファイルを作成する（CD リッピング）
音楽 CD や語学 CD などから、本機で再生可能なファイルをパソコンで作成します。

■ Windows Media Player で音楽ファイルを転送する
パソコンで作成した音楽ファイルを、Windows Media Player を使って本機に取り込みます。

■ USB メモリ、microSD カードリーダー / ライターとして使用する
本機を USB メモリや microSD カードリーダー / ライターとして使うことができます。

パソコンに接続する / 取り外す

パソコンに接続する

1 本機の USB 端子を出す
☞ **USB 端子を本機から出す（22 ページ）**

2 電源オフの状態で、USB 端子をパソコンに接続する

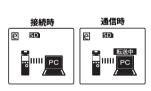
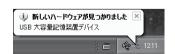
- バスパワー型 USB ハブ、または USB 延長ケーブル（付属ケーブル以外）をご使用の場合は動作保証いたしません。必ず、付属の専用 USB 接続ケーブルのみで接続してください。
- パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

■パソコンに接続中の画面の表示

通信中は本機をパソコンから抜かないでください。
接続画面表示中は、本機のどのボタンやスイッチを押しても動作しません。

■初めて接続した場合

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。

- パソコンに何も表示されない場合は
☞ **本機が正常に認識されているか確認する (154 ページ)**

■自動再生画面について

Windows XP または Windows Vista をお使いの場合は［自動再生］画面が表示される場合があります。

[自動再生] 画面で「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択して「OK」をクリックすると、本機のフォルダが表示されます。

また、[自動再生] 画面で実行する動作の種類や表記は、お使いのパソコン環境によって変わります。

パソコンから取り外す

1 ［タスクトレイ］の をクリックし、[USB 大容量記憶装置デバイス - ドライブを安全に取り外します] をクリックする

- お使いのパソコン環境により、ドライブのアルファベット表記が異なりますが、問題はありません。

2 下図のメッセージが表示されたら、本機をパソコンから取り外す

- ［タスクトレイ］に アイコンが表示されない場合は、 をクリックしてください。隠れているアイコンが表示されます。それでも 表示されない場合は、パソコンの電源を切り、本機を取り外してください。

パソコンで充電する

本機にエネループ充電池（付属）を入れて充電します。

- **本機にエネループ充電池が入っていることを必ず確認してください。**
- アルカリ電池等を入れたまま充電すると、液漏れ等、本機の故障の原因となります。
- 電池切換を「エネループ」に設定してください。

☞ 使用する電池の種類を切り換える（122 ページ）

エネループを充電する

1 本機をパソコンに接続する

☞パソコンに接続する（132 ページ）

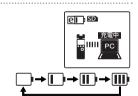
2 本機の画面が PC 接続中の表示であることを確認して、ホールドスイッチをホールド側にする

録音 LED が点灯し、充電が始まります。

- 充電中は画面の電池残量の表示が図のように切り換わります。
- 途中で充電を止めるときは、ホールドスイッチを戻してください。
- 充電が完了すると、録音 LED が消灯します。
- 充電時間は約 120 分です。

※充電時間は、使い切った電池を満充電する場合の目安です。電池の残量や周囲温度などによって充電時間は変化します。

充電が完了したら、本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（133 ページ）

- 電池切換の設定が「アルカリ電池」に設定されている場合は充電されません。
- 電源スイッチをホールド側にした状態でパソコンに接続すると充電が開始されません。電源スイッチをいったん戻してから、再度ホールド側に切り換えてください。
- 画面に PC 接続中の表示が出ないときは、再度、本機をパソコンに接続し直してください。
☞パソコンに接続する（132 ページ）
- 以下の状態のときは充電しない場合があります。
  - パソコンが休止状態のモードになったとき
  - パソコンを再起動したとき
- 図のように充電表示に✕が表示されると、以下のような理由により充電できません。
  - エネループ充電池以外の電池が入っている
  - 本機に電池が入っていない
  - 本機の温度が上がっている
  （パソコンから取り外し、電源オフ状態でしばらく放置してから接続してください。）

- 充電中に電池や本体が熱くなることがありますが異常ではありません。
- 満充電しても、電池の使用時間が著しく短くなったときが電池の寿命です。新しい単 4 形エネループ充電池をお買い求めください。
- 充電中は電池ぶたを必ず閉めてください。
- データ転送中でも充電できます。
- 充電は周囲の温度が 5 ～ 35℃の環境でおこなってください。

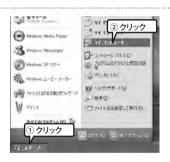
パソコンで見る本機のフォルダ / ファイルについて

本書の中では、本機に microSD カード（本機でフォーマット済み）が入っている状態の画像を使って説明しています。この場合、画面上では、本体メモリと microSD カードはそれぞれ、「PS603RM」（本体メモリ）と「PS603RM_SD」（microSD カード）と表示されます。ただし、OS が Windows2000 の場合は、本体メモリおよび microSD カードは共に「リムーバブルディスク」と表示されます。本書では、OS は Windows XP で説明しています。

1 **本機をパソコンに接続する**

☞ **パソコンに接続する（132 ページ）**

2 **マイ コンピュータを開く**

［スタート］メニューから［マイ コンピュータ］をクリックする。または、デスクトップ上の［マイ コンピュータ］をダブルクリックする。

3 **PS603RM（または PS603RM_SD）を開く**

［PS603RM（または PS603RM_SD）］をダブルクリックする。

☞ **PS603RM（または PS603RM_SD）が表示されない場合は（154 ページ）**

本機のフォルダが表示されます。
☞ フォルダとは（23 ページ）

・ **本体メモリのドライブ名について**
本体メモリのドライブは「PS603RM」と表示されます。

・ **microSD カードのドライブ名について**
microSD カードを本機でフォーマットを行なうと「PS603RM_SD」と表示されます。本機でフォーマットを行なわずに使用する場合は「リムーバブルディクス」と表示されます。本機に microSD カードが入っていない場合や本機でフォーマットされていない microSD カードが入っている場合は、「リムーバルディスク」と表示されます。

- **本機で録音した MP3 または、WAV ファイルの名前をパソコンで変更すると、元のフォルダで再生できなくなります。ファイル名規則に沿ったファイル名に戻すか、MUSIC フォルダに移して再生してください。（☞ 24 ページ）**

■セキュリティ設定とパソコン上のリムーバブルディスク表示について

(　) 内はドライブ名

セキュリティ設定		本体セキュリティアイコン	本体メモリ	microSD カード
使用しない（解除）		—	○（PS603RM）	○（PS603RM_SD）
使用する	再生ロック中		×	○（PS603RM_SD）
	再生ロック解除		○（PS603RM)*	○（PS603RM_SD）

○ : パソコンで表示されます。
× : パソコンで表示されません。
上図は、本機の電源が入った状態でパソコンに接続した場合です。
* 電源を切ると、再生ロック中に切り換わるため、電源を切った状態でパソコンに接続した場合は表示されません。

ファイルの管理

録音した音声ファイルをパソコンに保存する

1 本機をパソコンに接続し、マイコンピューターから PS603RM（または PS603RM_SD）を開く

☞パソコンに接続する（132 ページ）

・ マイコンピューターの開き方については（☞ 136 ページ）

2 録音した音声ファイルが入っているフォルダを開く

［PS603RM］内の［MIC_A］をダブルクリックする。

・ ここでは、「MIC_A」フォルダを開く例です。

☞ファイル / フォルダについて（23 ページ）

3 パソコンに保存したいファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから [コピー] をクリックする

コピーする準備が完了しました。

・ パソコンに保存するとともにそのファイルを本機から消去する場合は [切り取り] を選んでください。

4 保存先のフォルダを開く

［スタート］メニューから［マイミュージック］をクリックする。

- ここでは [マイ ミュージック] に保存する例です。

5 音声ファイルを転送する

［編集］をクリックし、表示されたメニューから［貼り付け］をクリックする。
保存先のフォルダに同じ名前のファイル作成されたら保存完了です。

- **転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。**

6 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（133 ページ）

パソコンに保存した音声ファイルを本機に戻す

マイミュージックに保存した音声ファイルを本機に戻して再生する方法について説明します。パソコンに保存されたファイルを本機で聞くときは、MUSIC フォルダに転送してください。

1 本機をパソコンに接続する

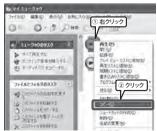
☞パソコンに接続する（132 ページ）

2 マイ ミュージックを開く

[スタート] メニューから「マイ ミュージック」をクリックする。または、デスクトップ上の [マイ ミュージック] をダブルクリックする。

・ マイ ミュージック以外の他の場所にファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

3 転送したい音声ファイルにマウスポインタを合わせて右クリックし、メニューから [コピー] をクリックする

コピーする準備が完了しました。

4 マイ コンピュータから PS603RM（または PS603RM_SD）を開く

・マイコンピューターの開き方については（☞ 136 ページ）

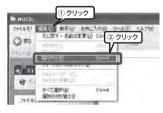
5 MUSIC フォルダを開く

［MUSIC］をダブルクリックする。

6 音声ファイルを転送する

［編集］をクリックして表示されるメニューから［貼り付け］をクリックする。

コピーが開始され、同じ名前のファイルが作成されたら転送完了です。

- **転送中は絶対に本機をパソコンから取り外さないでください。**

7 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（133 ページ）

知っておくと便利です

■ファイルを MIC_A ～ D、LINE フォルダに戻す場合

ファイル名規則（☞ 24 ページ）に沿ったファイルのみ再生できます。ファイル名を確認し、元のフォルダへ入れてください。

・ファイル名から元のフォルダを調べることができます。

001A_1120_1200.MP3

元のフォルダ
A ～ D: MIC_A ～ D フォルダ
L: LINE フォルダ

音声ファイルを CD-R/RW にコピーする

本機で録音した音声ファイルを Windows Media Player で CD-R/RW にコピーすることができます。以降の手順は、本機で録音した音声ファイルを、[マイ ドキュメント] の [マイ ミュージック] に保存した状態で説明しています。

- **CD-R/RW にコピー中は、他の操作をしないでください。ノイズ混入の原因になります。**

1 **Windows Media Player を起動する**

画面左下の［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］をクリックして、Windows Media Player11 を起動する。

2 **[書き込み] をクリックする**

書き込み画面が表示されます。

3 **書き込み形式（作成する CD の種類）を選択する**

[書き込み] ボタンの上で右クリックし、表示されるメニューから、[オーディオ CD] または [データ CD] をクリックする。

［オーディオ CD］：
CD-DA 形式に変換して CD-R/RW にコピーします。CD-R 対応のコンポやカーオーディオなどで再生できます。
［データ CD］：
本機で録音した形式（MP3、PCM）のまま CD-R/RW にコピーします。パソコン上で再生できますが、一般のオーディオ機器では再生できません。

・ オーディオ CD を選択して CD-R/RW にコピーする場合、CD の容量によって最大で以下の記録時間となります。（あくまで理論値であり、保証するものではありません）
650MB…74 分
700MB…80 分
コピーしたい音声ファイルが上記時間以上のときは、あらかじめ本機でファイル分割してください。

☞**ファイルを分割する（72 ページ）**

4 空の CD-R を CD-R/RW ドライブに挿入する

書き込みリストの上に、挿入した CD の情報（残り記録時間など）が表示されます。

5 [スタート] メニューから [マイミュージック] を開く

・ マイミュージック以外の他の場所に書き込むファイルを保存している場合は、ファイルが保存されている場所を開いてください。

6 CD-R にコピーしたいファイルを Windows Media Player の [書き込みリスト] にドラッグ＆ドロップして追加する

[書き込みリスト] に追加されたファイルが表示されます。

・ ドラッグ＆ドロップとは、パソコン画面上でマウスポインタがファイルのアイコンなどに重なった状態で、マウスの左ボタンをクリックしたまま移動（ドラッグ）させ、別の場所でマウスのボタンを離す（ドロップ）操作のことです。

・ 書き込みリスト上でファイルの再生時間が表示されていないファイルは、書き込みエラーとなります。この場合は一度そのファイルをダブルクリックして再生してください。時間が表示されるようになり、書き込みもできるようになります。

7 書き込みを開始する

[書き込みの開始] をクリックして、CD-R への書き込みを開始する。

8 書き込みの完了

[完了] と表示されたら、CD-R/RW への書き込みは完了です。

- Windows Media Player の設定によっては、自動的に CD トレイが開きます。

- 書き込みリストに追加した音声ファイルの合計時間が記録可能時間を超えた場合、Windows Media Player11 は自動的に複数の CD に分けて書き込みます。また、Windows Media Player11 は書き込み時に曲の間に 2 秒間の間隔を空けるため、合計時間が CD の長さと正確に一致していても最後の曲が収まらない可能性があります。

本機で音楽を聞く

本機で音楽を楽しむには、まずパソコンに音楽ファイルを記録し、それを本機に転送する必要があります。

■音楽ファイルを記録するには

音楽ファイルを記録するには以下の 2 通りの方法があります。

・ 音楽 CD や語学 CD などから作成する
・ インターネット上の音楽配信サービスを利用する

本機で再生できる形式は、次の 3 形式のファイルです。

・ WMA 形式のファイル（PD-DRM 対応）
・ MP3 形式のファイル
・ 本機で録音した WAV 形式のファイル

※AAC 形式など、本機に対応していない記録形式では再生できません。

※本体メモリや microSD カードに転送した **PD-DRM ファイル**は、転送を実行した本機以外（他の機器や同一モデルの他機など）では再生できません。

- **お客様が取得した MP3・WMA・WAV 形式ファイルは個人として楽しむほかは著作権法上、権利者に無断で複製や配布したり、インターネットへの掲載などに使用することは、固く禁じられています。**
- **本機およびパソコンの不具合により、転送やダウンロードができなかった場合、または音楽ファイルが破損、消去された場合、ファイル内容の補償はいたしません。**

音楽 CD を記録する場合	音楽配信サービスを利用する場合
Windows Media Player を起動し、音楽 CD の曲をライブラリへ取り込みます。 ライブラリへの取り込みが終わった段階で、音楽 CD の内容が MP3（または WMA）形式の音楽ファイルへと変換されます。 ☞ **音楽ファイルを作成する（CD リッピング）（147 ページ）**	WMA 形式に対応している音楽配信ホームページから音楽ファイルを購入します。 本機は PD-DRM に対応しています（DRM10 には対応していません）。

▼　▼

Windows Media Player を使って音楽ファイルを転送します。
☞ **Windows Media Player で音楽ファイルを転送する（149 ページ）**

音楽ファイルを作成する（CD リッピング）

音楽 CD や語学 CD などから本機で再生可能なファイル（MP3 または WMA）を作成し、パソコンに取り込む方法について説明します。

- **CD から音楽ファイルを取り込み中は、他の操作をしないでください。ノイズ発生の原因となります。**

1 **Windows Media Player を起動する**

［スタート］メニューから［すべてのプログラム］－［Windows Media Player］を選択して、Windows Media Player11 を起動する。

2 **Windows Media Player の設定を変更する**

[取り込み] の上で右クリックして表示されるメニューから、[形式] - [mp3] をクリックする。

3 **[取り込み] をクリックし、音楽 CD をパソコンの CD-R/RW ドライブに挿入する**

- お使いのパソコンがインターネット接続環境にある場合、自動的にインターネットから音楽 CD の曲情報を入手して表示します。インターネットに接続していない場合や、CD の種類によっては曲情報を表示しない場合もあります。

4 取り込みを開始する

パソコンに取り込みたい曲にチェックをつけて
[取り込みの開始] をクリックする。

・ Windows Media Player の設定によっては、CD を挿入したとき自動的に取り込みが開始されます。

5 取り込みの完了

選択した曲がすべて［ライブラリに取り込み済み］と表示されたら、取り込みは完了です。
取り込まれたファイルは、Windows Media Player の初期設定では、マイミュージックにアーティストやアルバムごとに分かれて保存されます。

Windows Media Player で音楽ファイルを転送する

パソコンに取り込んだ音楽ファイルを、本機に転送することができます。
CD からパソコンに音楽ファイルを取り込む方法については「音楽ファイルを作成する（CD リッピング）」を参照してください。（☞ 147 ページ）

1 **Windows Media Player を起動する**
「スタート」メニューから「すべてのプログラム」-「Windows Media Player」を選択して、Windows Media Player11 を起動する。

2 **[同期] をクリックする**
同期画面が表示されます。

3 **本機をパソコンに接続する**
☞パソコンに接続する（132 ページ）

接続した機器の情報が表示されます。
デバイスの設定画面が表示された場合は [完了] をクリックしてください。

4 同期の設定を行う

[同期] の上で右クリックし、表示されるメニューから [リムーバブルディスク] − [詳細オプション] をクリックする。

5 [同期] タブの [デバイスにフォルダ階層を作成する] にチェックをつけ、[OK] をクリックする

初期状態でチェックが入っていると、フォルダが作成されない場合がありますので、一度チェックを外してから、再度チェックをつけ、[OK] をクリックしてください。

6 同期リストを作成する

画面左側のライブラリから同期したい音楽ファイルを選択し、画面右側の「同期リスト」にドラッグ＆ドロップする。

- Ctrl キーを押しながら音楽ファイルを選択することで、複数のファイルをまとめて選択して追加することができます。
- アーティストやアルバムのジャケット画像をドラッグ＆ドロップすれば、そのアーティストやアルバムに含まれるすべての曲が同期リストに追加されます。

7 同期を開始する

画面右下の [同期の開始] ボタンをクリックする。

8 同期の完了

[デバイスに同期されました] と表示されたら、同期は完了です。

その他の活用方法

USB メモリー microSD カードリーダー / ライターとして使用する

本機は、IC レコーダーとしての使い方のほかに、USB メモリーや microSD カードリーダー / ライターとしてご使用いただけます。文書や画像データを本体メモリーや microSD カードに保存することもできます。

パソコンのデータを本機にコピーする

1 **パソコンを起動する**

2 **本機をパソコンに接続する**

☞パソコンに接続する（132 ページ）

3 **エクスプローラを起動する**

［スタート］メニューをクリックし、［マイコンピュータ］の上で右クリックし、表示されたメニューから［エクスプローラ］をクリックする。

4 コピーするファイルが入っているフォルダを開き、コピーするファイルを選択して右クリックし、[コピー] をクリックする

5 [PS603RM（または PS603RM_SD）] をクリックする

6 [編集] をクリックし、メニューから [貼り付け] をクリックする

PS603RM（または PS603RM_SD）に同名のファイルが作成されたら、コピー完了です。

7 本機をパソコンから取り外す

☞パソコンから取り外す（133 ページ）

トラブルシューティング

本機が正常に認識されているか確認する

● Windows Vista

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
[スタート] メニューの「コンピュータ」アイコンの上で右クリックし､表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システム] 画面を開きます。
[デバイスマネージャ] をクリックし、表示されるユーザーアカウント制御画面から [続行] を選択して [デバイスマネージャ] 画面を開きます。
[ディスクドライブ] 及び [ユニバーサルシリアルバスコントローラ] に下図のデバイスが表示されていれば正常です。

● Windows XP、Windows 2000

本機をパソコンに接続した状態で、以下の確認作業を行ってください。
[スタート] メニュー（またはデスクトップ上）の [マイコンピュータ] アイコンの上で右クリックし、表示されるメニューから [プロパティ] を選択して [システムのプロパティ] 画面を開きます。
[ハードウェア] タブ内の [デバイスマネージャ] をクリックしてデバイスマネージャ画面を開き、[ディスクドライブ] および [USB (Universal Seial Bus) コントローラ] に次ページの図のデバイスが表示されていれば正常です。

〈WindowsXP〉

〈Windows2000〉

デバイスマネージャで正しく表示されなかったら

以下の手順で確認を行ってください。

①起動中のアプリケーションはすべて終了させてください。
②接続されている他の USB 機器（正しく動作しているマウス・キーボードは除く）はすべて取り外して、本機を単独で接続してください。
③パソコンに USB 端子が複数ある場合（前面・背面など）は、別の USB 端子に本機を接続してください。
④バスパワー型 USB ハブ（USB 端子分配用周辺機器）を介して本機を接続している場合は、一旦ハブを取り外してパソコンの USB 端子に直接付属の専用 USB 接続ケーブルを使用して本機を接続してください。

・ 接続する USB ケーブルは、必ず付属の専用 USB 接続ケーブルを使用してください。

資料

関連商品について

デジタルボイスレコーダーをより便利にご使用いただくための別売品のご紹介です。

<table>
<tr><td>デジタルワイヤレスマイクシステム
HM-W300

IC レコーダーと組み合わせると、遠くの音を手元で録音することができます。軽量、高音質デジタルワイヤレスマイク</td><td>ステレオ 3 WAY マイク
HM-250

携帯電話、ビジネスホンや家庭用固定電話の録音、バイノーラル録音予及び、タイピンマイクとして使ってのポケット録音に対応した多機能 3 WAY マイク。</td></tr>
<tr><td>USB 対応 AC アダプター
D-5V-USB2

安全保護回路搭載で簡単充電。
AC 駆動が可能になります。</td><td></td></tr>
</table>

エラーメッセージ

本機の各操作中にエラーメッセージが表示されることがあります。
エラーメッセージの内容は、下記のとおりです。

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
バッテリー低下	電池切れです 新しい電池と 交換して下さい	アルカリ電池設定で電池切れになった場合に表示されます。	33 ページ
	電池切れです 電池を 充電して下さい	エネループ設定で電池切れになった場合に表示されます。	33 ページ
再生	再生するﾌｧｲﾙが ありません	フォルダ内に再生ファイルがない場合で、再生ボタンを押した場合に表示されます。	59 ページ
	このファイルは 可変速再生 できません	PCM 録音再生時に、再生スピードの変更操作をした場合に表示されます。	63 ページ
録音	容量が一杯です	本体メモリや microSD カードに空き容量がない時に録音した場合に表示されます。	168 ページ
	ﾌｧｲﾙが一杯です	各フォルダの録音可能なファイル数を超えて録音した場合に表示されます。	24 ページ 25 ページ
編集（インデックス）	インデックス が一杯です	インデックスが最大数（1 ファイルあたり 36）を超えた場合に表示されます。	69 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
編集（ファイル分割）	このフォルダに これ以上の ファイルを 作成できません	フォルダ内に再生可能なファイル数が最大まである状態で、ファイル分割操作をした場合に表示されます。	72 ページ
	ファイル分割に 必要な空き容量 が足りません	ファイル分割するために必要な microSD カードの空き容量がない場合に表示されます。	72 ページ
	録音時間が 短いので 分割できません	ファイル分割可能な録音時間よりも短いファイルを分割操作した場合に表示されます。	72 ページ
	現在の停止位置 ではファイルを 分割できません	ファイル分割できない位置で分割操作した場合に表示されます。	72 ページ
編集（全般）	MUSIC ﾌｫﾙﾀﾞ では 編集できません	MUSIC フォルダを選択時に分割ボタンを押した場合に表示されます。	25 ページ 72 ページ
リスト表示	再生するﾌｧｲﾙが ありません	フォルダ内に本機で再生できるファイルがない場合に表示されます。	28 ページ
ごみ箱	ごみ箱ﾌｫﾙﾀﾞ では 編集できません	ごみ箱フォルダを選択時に分割ボタンを押した場合に表示されます。	26 ページ 72 ページ
	ごみ箱が 一杯です 空にして下さい	ごみ箱フォルダ内のファイルが最大（199）まである状態で、ごみ箱設定「ON」でファイルを削除し、これ以上ごみ箱へ移せない場合に表示されます。	91 ページ 93 ページ
	＊が一杯です ファイルを 戻せません	ごみ箱からファイルを戻した際に、戻し先のフォルダに録音可能な最大数のファイルが存在している場合に表示されます。（＊は戻し先のフォルダ名）	89 ページ

本機の状態（機能）	エラーメッセージ	説明	参照ページ
microSD カード関連	microSD ｶｰﾄﾞ が 正しく 認識しません 再挿入下さい	microSD カードの挿入で認識に失敗した場合や、microSD カードが壊れている場合などに表示されます。	36 ページ
	microSD カード 書込み速度が 遅いです	PCM 録音時などに録音の書き込みが正しくできない状態が発生した際に表示されます。	37 ページ
プレイリスト編集	このﾌﾟﾚｲﾘｽﾄに これ以上ファイルを 登録できません	1 つのプレイリスト（MYLIST）に 100 ファイル目を登録しようとした場合に表示されます。	78 ページ
	MUSIC フォルダ 以外では ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ操作 できません	MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダ内のファイルを選択して、プレイリスト（MYLIST）に登録しようとした場合に表示されます。	78 ページ
	全てのファイルを プレイリストへ追加 できません でした	1 つのプレイリスト（MYLIST）に 100 ファイル以上のファイルを登録しようとした場合に表示されます。	78 ページ
	ファイルがない為 ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄ操作 できません	プレイリストに登録されている元のファイルが削除されている場合に表示されます。	78 ページ
	ﾌﾟﾚｲﾘｽﾄﾌｧｲﾙは 選択できません	リスト表示中にプレイリストファイルを選択してメニューボタンを押したときに表示されます。	78 ページ

故障かな？と思ったら

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。
直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。

本機が動作しない

原　　因	電池が正しく入っていないか、電池切れである
解 決 方 法	電池が正しく入っていることを確認してください。 一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または充電するか新しい電池に交換してください。 31ページ「電池を入れる」参照

ボタンまたはスイッチを押しても反応しない

原　　因	誤動作防止機能（ホールド機能）が設定されている
解 決 方 法	誤動作防止機能（ホールド機能）を解除してください。 35ページ「誤動作を防止する（ホールド機能）」参照

原　　因	USB接続したままである
解 決 方 法	本機をパソコンから取り外してください。 133ページ「パソコンから取り外す」参照

microSD カードが認識されない

原　　因	microSDカードが正しく挿入されていない
解 決 方 法	本機の電源をオフにし、再度microSDカードを挿入し直してください。

原　　因	microSDカードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした
解 決 方 法	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 95ページ「microSDカードを初期化する（フォーマット）」参照

エネループが充電できない

原　　因	電池切換が「アルカリ電池」に設定されている
解 決 方 法	電池切換を「エネループ」に設定してください。 122ページ「使用する電池の種類を切り換える」参照

原　　因	本機をパソコンに接続しただけである
解決方法	パソコンでの充電は、接続しただけでは自動的に充電されません。充電操作をしてください。 33ページ「エネループを充電する」参照

充電すると ⊠ を表示する

原　　因	・エネループ充電池以外の電池を入れて充電しようとした ・本機に電池を入れずに充電しようとした ・電池が正しく入っていない
解決方法	本機にエネループ充電池を入れて充電してください。

原　　因	本機の温度が上がっている
解決方法	本機をパソコンから取り外して、しばらく放置してから再充電してください。

音声が聞こえない

原　　因	音量が小さい
解決方法	音量を調節してください。 58ページ「ファイルを再生する」参照

フォルダ（MIC_A 〜 D、LINE、🗑）内のファイルが再生できない

原　　因	ファイル名が異なる
解決方法	上記フォルダ内のファイルは、パソコンでファイル名を変更すると元のフォルダに戻しても再生できなくなりますが、MUSIC（M）フォルダに転送すると、本機で再生できるようになります。

原　　因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解決方法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。

MUSIC（M）フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない

原　　因	再生できるファイル形式ではない
解決方法	正常に再生できるWMA形式またはMP3形式のファイルをご使用ください。

原　　因	本機で録音したWAV形式の音声ファイルではない
解決方法	本機以外で録音したWAV形式の音声ファイルの再生はできません。

原　因	転送先が異なる
解決方法	パソコンからファイルを転送するときに、MUSIC（M）フォルダ以外のフォルダに入れても、本機で再生できません。必ずPS603RM（またはPS603RM_SD）内のMUSIC（M）フォルダ内に転送してください。 149ページ「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」参照

原　因	本機で再生できないファイルとなっている
解決方法	エンコーダー（MP3・WMA変換）ソフトを別のものに変えてファイルを作成してください。

原　因	プレイリストに書かれているファイルがMUSIC(M)フォルダ内にない
解決方法	プレイリストからそのファイル名を削除するか、MUSIC(M)フォルダ内にそのファイルを転送してください。

原　因	転送方法が異なる
解決方法	著作権保護されているファイルは、エクスプローラで転送しても再生できません。Windows Media Playerで転送してください。 149ページ「Windows Media Playerで音楽ファイルを転送する」

原　因	再生可能なファイル数を超えている
解決方法	1つのフォルダにつき最大199ファイルのみ再生可能です。サブフォルダがある場合は、サブフォルダの数だけ、再生できるファイル数が減ります。別のフォルダに保存してください。

ファイル分割ができない

原　因	本体メモリ、microSDカードの空き容量が足りない
解決方法	不要なファイルを消去してください。 91ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

原　因	ファイルの録音時間が短すぎる
解決方法	ファイル分割は録音時間の長いファイルでおこなってください。 PCM48…約2秒以上、PCM44.1…約2秒以上、MP3:320…約2秒以上、MP3:192…約2秒以上、MP3:128…約4秒以上、MP3:64…約8秒以上、MP3:32…約16秒以上

原　因	フォルダあたりの最大ファイル数いっぱいになっている
解決方法	不要なファイルを消去してください。 91ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

ファイルが消去できない

原　因	ファイルの属性が読み取り専用に設定されている
解決方法	本機をパソコンに接続して、ファイルの属性を変更するか、ファイルを消去してください。または、microSDカードのフォーマット（初期化）をおこなってください。 95ページ「microSDカードを初期化する（フォーマット）」参照

PC 接続時に、PS603RM（または PS603RM_SD）が表示されない

原　因	パソコンと本機が正しく接続されていない
解決方法	専用USB接続ケーブルが本機側、パソコン側共に最後まで正しく差し込まれていることを確認の上、再度接続してください。 132ページ「パソコンに接続する」参照

原　因	本体メモリがセキュリティ設定されている
解決方法	セキュリティを解除してください。 125ページ「セキュリティ設定を解除する」参照

原　因	Windows 98, 98SE, MeのPCおよびMacintoshに接続している
解決方法	Windows 98, 98SE, Me及びMacintoshはサポートしていません。

原　因	パソコンからの電源供給が不十分
解決方法	バスパワー型USBハブを利用している場合は、パソコン本体のUSB端子と本機を直接接続するか、またはセルフパワー型（電源アダプター付）のUSBハブを使用してください。または、パソコン本体に複数USB端子がある場合は、他のUSB端子に接続してください。 132ページ「パソコンに接続する」参照

原　因	ネットワークドライブが割り当てられている
解決方法	ネットワークドライブが割り当てられていると、ドライブレター（ドライブ名を表すアルファベット）がぶつかり、PS603RM（またはPS603RM_SD）が作成されない場合があるので、ネットワークドライブの割り当てを変更してから再度接続してください。 ネットワークドライブの割り当てについてはネットワーク管理者などにお聞きください。

原　因	パソコンのOSがWindows2000である
解決方法	Windows2000では、本体メモリおよびmicroSDカードは共に「リムーバブルディスク」と表示されます。

録音した音声に音の歪み（音割れ）が発生している

原　　因	マイク感度が適切でない
解 決 方 法	・マイク感度を「低」に切り換えてください。それでも音割れする場合は「LowCutフィルタ」をON、マイクALCをOFFにし、録音レベルを調整して録音してください。 104ページ「マイク感度を切り換える」参照 107ページ「LowCutフィルタを設定する」参照

録音したファイルに音とびが発生する

原　　因	推奨品以外のmicroSDカードを使っている
解 決 方 法	推奨品のmicroSDカードをご使用ください。 37ページ「本機で使用可能なmicroSDカード」参照

原　　因	・microSDカードを本機以外（パソコンなど）でフォーマットした ・メモリの断片化が進んでいる
解 決 方 法	microSDカードを本機でフォーマットしてください。 95ページ「microSDカードを初期化する（フォーマット）」参照

PC 接続時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない

解 決 方 法	パソコンによっては、パソコンに接続した時に、本機の画面に接続アイコン表示がでない場合や、パソコン側で本機が認識されない場合があります。その時は本機をパソコンより抜いて再度接続してください。

カレンダーが正しく表示されない

解 決 方 法	日時を再設定してください。 39ページ「カレンダー（日時）を設定する」参照

ファイルを削除したのに空き領域が増えない

原　　因	ごみ箱の設定がONになっている
解 決 方 法	ごみ箱の中身を消去してください。 90ページ「ごみ箱内のファイルを空にする」参照

タイマーが正常に動作しない（予約録音ができていなかった）

原　　　因	カレンダーが初期化されている
解 決 方 法	カレンダーの設定を行なってください。 39ページ「カレンダー（日時）を設定する」参照

原　　　因	録音先のフォルダーがいっぱいになっている
解 決 方 法	不要なファイルを消去してください。 91ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照 録音先を変更してください。

原　　　因	電池の残量がない
解 決 方 法	電池を交換してください。 33ページ「電池の残量について」参照

原　　　因	本体メモリ、microSDカードの空き容量がない
解 決 方 法	不要なファイルを消去してください。 91ページ「1件消去する（ファイル消去）」参照

原　　　因	録音先がmicroSDカードで、本機にmicroSDカードが入っていない
解 決 方 法	microSDカードを取り付けてください。 36ページ「microSDカードを取り付ける/取り外す」参照

録音するとノイズが聞こえる

原　　　因	録音モードやマイク感度が適切でない（マイク録音の場合）
解 決 方 法	録音モードやマイク感度を切り換えてためし録音しながら、最適な録音環境に設定してください。 103ページ「録音モードを切り換える」参照 104ページ「マイク感度を切り換える」参照

よくあるご質問

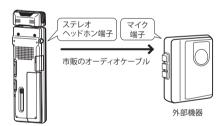
Q：アルカリ乾電池やエネループ充電池以外の電池は使えますか?

A：マンガン電池、ニカド電池は使用しないでください。オキシライド電池は使用できます。（電池の持続時間はアルカリ乾電池の場合とほぼ同じになります。）

Q：マイク録音した音声にガサガサ雑音が入るのはなぜ?

A：マイク録音中に本機や本機を握っている手や指を動かすと、その音が録音されてしまいます。マイク録音中はできるだけ本機を動かさないようにしてください。

Q：録音内容をテープ・MDなどに保存するには?

A：市販のオーディオケーブル（ミニプラグ：3.5ø）を使えば、本機で録音したファイルを、簡単にテープレコーダーや MD レコーダーなどの外部機器にダビングして保存することができます。

使用するオーディオケーブル

外部機器側	オーディオケーブル
マイク入力	ミニプラグ：3.5ø、抵抗入り
音声ライン入力	ミニプラグ：3.5ø、抵抗なし

- ステレオのオーディオケーブルをご使用ください。
- ダビングする時は、事前にためし録音をし、本機で音量の調節を行ってください。
- テープレコーダーやMDプレーヤーから本機への録音も可能です。☞55ページ

Q：電話の音声を録音するには？

A：別売品：3WAY ステレオマイク「HM-250」を使って録音できます。携帯電話や家庭用固定電話または、ビジネスホンなどの会話を録音するときも便利です。

3WAYステレオマイク「HM-250」

Q：うまく録音するコツは？

A：録音場所や周囲の状況により録音状態が異なりますので、事前に試し録音をして適切な録音モードやマイク感度を選択してください。103 ページを参考に、本機の設定を行ってください。

Q：パソコンにいったん保存した録音ファイルを、本機に再び戻したら再生できなくなりました。

A：パソコンでファイル名を変更していませんか？ファイル名を変更すると、MIC_A ～ D フォルダや LINE フォルダなどに戻しても再生できません。ファイル名を変更した場合は、MUSIC フォルダに転送すると再生できるようになります。

その他のよくあるご質問ならびに本機ファームウェアのバージョンアップ情報については、当社ホームページのサポートページ　http://www.sanyo-audio.com/support/icr/　にて随時更新しています。そちらも併せてご覧ください。

お手入れについて

柔らかい布でふいてください。汚れがひどいときは、柔らかい布でからぶきをしてください。

・ ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。また、殺虫剤もかからないようにご注意ください。

■温度上昇について

本機を長時間お使いになると、本機の温度が上昇することがありますが、故障ではありません。

主な仕様

対応 OS　：　Windows Vista/XP/2000

本体メモリ　：　4GB

対応メディア　：　microSD カード、microSDHC カード

（当社推奨 microSD、microSDHC カード以外での動作保証はいたしません。当社基準において動作確認済のカードについては、当社サポートホームページをご確認ください。）

URL: http://www.sanyo-audio.com/support/index.htm

録音モードと録音可能時間（本体メモリ　4GB）：

PCM48kHz	約 5 時間 30 分
PCM44.1kHz	約 6 時間
MP3 320kbps	約 27 時間
MP3 192kbps	約 45 時間
MP3 128kbps	約 68 時間
MP3 64kbps	約 136 時間 30 分
MP3 32kbps	約 273 時間

（microSD カード /microSDHC カード）

録音モード	microSD カードのサイズ				
	512MB	1GB	2GB	4GB	8GB
PCM48kHz	約 40 分	約 1 時間 15 分	約 2 時間 40 分	約 5 時間 30 分	約 11 時間
PCM44.1kHz	約 45 分	約 1 時間 20 分	約 3 時間	約 6 時間	約 12 時間
MP3 320kbps	約 3 時間 30 分	約 7 時間	約 13 時間 30 分	約 27 時間	約 54 時間
MP3 192kbps	約 5 時間 50 分	約 11 時間	約 22 時間 30 分	約 45 時間	約 90 時間
MP3 128kbps	約 8 時間 50 分	約 16 時間 30 分	約 34 時間	約 68 時間	約 136 時間
MP3 64kbps	約 17 時間 40 分	約 33 時間	約 68 時間	約 136 時間 30 分	約 272 時間
MP3 32kbps	約 35 時間 30 分	約 66 時間	約 136 時間	約 273 時間	約 544 時間

・表記の録音時間は目安です。microSD カードのメーカー、仕様により変わることがあります。

・録音されたファイルが複数あるときは、合計の録音時間はこれより短くなります。

・録音可能時間とは、本体メモリ、および microSD カードに何も録音データなどが入っていない状態で、途中で録音モードを変更せずに最初から最後まで録音した場合のすべてのフォルダの最大合計時間です。

※ 1 ファイルあたりの最長録音時間（連続録音時間）は 2GB までです。ただし、電池の持続時間を超えて連続録音することはできません。また、ＡＣ動作モードでの連続録音時間は 1 ファイルにつき最大２４時間です。

録音周波数特性	： 40 〜 23,000Hz（PCM 48kHz 16bit 時）
（外部マイク録音時）	： 40 〜 21,000Hz（PCM 44.1kHz 16bit 時） 40 〜 20,000Hz（MP3 320kbps 時） 40 〜 20,000Hz（MP3 192kbps 時） 40 〜 15,000Hz（MP3 128kbps 時） 40 〜 7,500Hz（MP3 64kbps 時） 40 〜 6,500Hz（MP3 32kbps 時）
（内蔵マイク録音時）	： 60 〜 20,000Hz（PCM 録音時） ※ MP3 録音時の周波数特性の上限値は、外部マイク録音時の各録音モードに準じます。また、下限値は各録音モード 60Hz となります。
録音フォーマット	： MP3、PCM（WAV）
再生フォーマット	： MP3（MPEG1 LAYER3、MPEG2 LAYER3、MPEG2.5 LAYER3）、WMA、PCM（本機で録音したファイルのみ）
再生周波数特性	： 20 〜 23,000Hz（48kHz サンプリング周波数時）
サンプリング周波数	： 16 〜 48kHz
再生対応ビットレート	： 16 〜 320kbps（MP3） 32 〜 192kbps（WMA） ※ファイルによっては正常に再生されない場合があります。
入・出力端子	： USB、ステレオヘッドホン 3.5ø ミニ、ステレオマイク（ライン入力兼用）3.5ø ミニ、microSD カードスロット
動作温度	： ＋ 5℃〜＋ 35℃
定格出力 （ヘッドホン）	： 10mW ＋ 10mW(16 Ω負荷時、JEITA/DC)
（スピーカー）	80mW
電源	： 単 4 形エネループ充電池（単 4 形アルカリ乾電池）× 1 本、AC 電源（USB）
充電時間	： 約 120 分
電池持続時間 （録音時間）	：［MP3］64kbps ステレオモード　約 26 時間（アルカリ乾電池）／約 19 時間（エネループ充電池） ［PCM］44.1kHz 16bit　約 10 時間（アルカリ乾電池）／約 9 時間（エネループ充電池） （録音環境：録音 LED OFF、バックライト OFF、録音モニターなし、ALC ON 時）

（再生時間 / ヘッドホン）	：	［MP3］64kbps	約 23 時間（アルカリ乾電池）
		ステレオモード	約 18 時間（エネループ充電池）
		［PCM］44.1kHz 16bit	約 11 時間（アルカリ乾電池）
			約 10 時間（エネループ充電池）
		（再生環境：ヘッドホン再生、バックライト OFF、サウンド EQ FLAT 時）	
（再生時間 / スピーカー）	：	［MP3］64kbps	約 18 時間（アルカリ乾電池）
		ステレオモード	約 14 時間（エネループ充電池）
		［PCM］44.1kHz 16bit	約 8 時間（アルカリ乾電池）
			約 8 時間（エネループ充電池）
		（再生環境：スピーカー再生、バックライト OFF、サウンド EQ FLAT 時）	
		※電池持続時間は、電池の種類、メーカー、保管状態、使用条件、使用周囲温度などによって変わります。上記の時間はあくまで目安であり、保証するものではありません。アルカリ乾電池、もしくは当社製充電池（エネループ充電池）以外での動作保証はいたしません。	
最大外形寸法	：	約 幅 35.4 ×高さ 120 ×奥行き 13.9(mm)	
質量	：	約 58g（エネループ充電池含む）	
付属品	：	インナーイヤー型ステレオイヤホン	（1）
		専用 USB 延長ケーブル	（1）
		単 4 形エネループ充電池	（1）
		ウインドスクリーン（風防）	（1）
		本書（保証書付）	（1）
		かんたん操作ガイド	（1）

※本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

保証書について

- この商品には保証書がついています。お買い上げの際、販売店が発行します。
- 所定事項の記入をご確認のうえ内容をよくお読みになって、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より本体のみ 1 年間です。

アフターサービスについて

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書の 160 ページからをもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店か、または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。
お問い合わせの際、電池を入れるところの内側に貼ってあるラベルに書かれた製造番号（シリアルナンバー）をお知らせください。

保証期間中の修理は

保証書の規定に従い、お買い上げの販売店が修理させていただきます。製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

部品の保有期間について

IC レコーダーの補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) の保有期間は、製造打ち切り後 6 年間です。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または「お客さまご相談窓口」にご相談ください。

お客様ご相談窓口

まずはお買い上げ販売店へ

家電製品の修理のご依頼やご相談は、お買い上げ販売店へお申し出ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は

下記の相談窓口にお問い合わせください。

総合相談窓口： 家電製品についての全般的なご相談

修理相談窓口： 修理サービスについてのご相談

総合相談窓口（全般的なご相談）
三洋電機（株） お客様センター

相談受付時間（365 日）9:00 ～ 18:30

☎ 050-3116-3434

※上記番号をご利用できない場合は　**大阪 (06)6994-9570**　におかけください。

※郵便・FAX でご相談される場合

三洋電機 (株)　お客さまセンター

FAX　(06)6994-9510

〒 570-8677　大阪府守口市京阪本通 2-5-5

家電商品の修理サービスについてのご相談　<三洋電機サービス株式会社>

受付時間　月曜日～金曜日 [9:00 ～ 18:30]（7 月～ 8 月は [8:45 ～ 19:30]）
土曜・日曜・祝日・当社休日 [9:00 ～ 17:30]

東京コールセンター（050- がご利用できない場合は、東京 03-5302-3401 へおかけください）

地区	電話番号
関東・甲信越地区	050-3116-2222
北海道地区	050-3116-2333
東北地区	050-3116-2444

大阪コールセンター（050- がご利用できない場合は、大阪 06-4250-8400 へおかけください）

地区		電話番号
近畿地区		050-3116-2555
中部・北陸地区	北陸	050-3116-2555
	中部	050-3116-2666　沼津地区は050-3116-2222
中国・四国地区	中国	050-3116-2777
	四国	050-3116-2555
九州地区		050-3116-2888

地区	電話番号
沖縄地区※	098-944-5018

※受付時間：月曜日～土曜日 9:00 ～ 17:30　（日曜、祝日及び当社休日を除く）

■上記のご相談窓口の名称、電話番号は変更することがありますので、ご了承ください。

お客さまご相談窓口における　お客さまの個人情報のお取り扱いについて

お客さまご相談窓口でお受けした、お客さまのお名前、ご住所、お電話番号などの個人情報は適切に管理致します。また、お客さまの同意がない限り、業務委託の場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示はおこないません。

<利用目的>

- お客さまご相談窓口でお受けした個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問合わせおよび修理の対応のみを目的として用います。なお、この目的のために三洋電機（株）および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

<業務委託の場合>

- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を行わせるとともに、適切な管理・監督をいたします。

個人情報のお取り扱いについての詳細は、ホームページ
http://jp.sanyo.com をご覧ください

持込み修理および部品についてのご相談　<三洋電機サービス株式会社>

受付時間　　月曜日〜土曜日 9:00 〜 17:30（日曜、祝日及び、当社休日を除く）

家電商品の持込み修理および部品のご相談については、各地区拠点（サービスセンター、サービスステーション）で承っております。最寄の拠点は別記一覧もしくは弊社ホームページでご確認ください。http://jp.sanyo.com

北　海　道　地　区			
札　　幌	(011) 831-9201	〒003-0013	札幌市白石区中央三条4-1-36
旭　　川	(0166) 22-2421	〒070-0073	旭川市曙北三条7-3-3
函　　館	(0138) 48-8301	〒041-0824	函館市西桔梗町589-295
釧　　路	(0154) 22-1576	〒085-0035	釧路市共栄大通3-1-6
北　　見	(0157) 23-4871	〒090-0037	北見市山下町4-7-14
東　北　地　区			
青　　森	(017)729-3401	〒030-0141	青森県青森市大字上野字山辺29-5
盛　　岡	(019)623-1600	〒020-0824	岩手県盛岡市東安庭2-10-6
仙　　台	(022)287-8351	〒984-0032	仙台市若林区荒井字丑ノ頭43-1
秋　　田	(018)862-6551	〒011-0901	秋田県秋田市寺内イサノ93-1
山　　形	(023)641-1769	〒990-2331	山形県山形市飯田西4-5-35
郡　　山	(024)945-6793	〒963-0107	福島県郡山市安積3-120
関東・甲信越地区			
水　　戸	(029) 251-4125	〒311-4152	茨城県水戸市河和田3-2386-1
つ く ば	(029) 864-4751	〒300-3261	茨城県つくば市花畑2-15-3
宇 都 宮	(028) 684-2551	〒321-0151	栃木県宇都宮市西川田町53-1
高　　崎	(027) 362-1151	〒370-0004	群馬県高崎井野町338-1
大　　泉	(0276) 63-4401	〒370-0524	邑楽郡大泉町古海541-9
さいたま	(048) 778-3095	〒362-0025	埼玉県上尾市上尾下780-1
坂　　戸	(049) 284-8900	〒350-0214	埼玉県坂戸市千代田5-3-17
千　　葉	(043) 208-3800	〒260-0842	千葉県千葉市中央区南町3-7-15
鎌 ケ 谷	(047) 441-0111	〒273-0105	千葉県鎌ケ谷市鎌ケ谷7-6-59
武 蔵 野	(042) 364-7721	〒183-0033	東京都府中市分梅町5-9-1
城　　東	(03) 5697-8160	〒120-0005	東京都足立区綾瀬7-22-15綾瀬7丁目ビル
城　　北	(03) 5914-3413	〒174-0051	東京都板橋区小豆沢1-23-10

事務所	電話番号	郵便番号	所在地
城　　西	(03) 5347-0761	〒167-0032	東京都杉並区天沼3-12-12テック杉並
横　　浜	(045) 827-2831	〒224-0806	神奈川県横浜市戸塚区上品濃9-14
京　　浜	(044) 740-3530	〒221-0041	川崎市中原区下小田中5-11-21
平　　塚	(0463) 55-3926	〒254-0014	平塚市四之宮3-20-60
相 模 原	(042) 788-2760	〒194-0012	東京都町田市金森851-3
新　　潟	(025) 285-2431	〒950-0951	新潟県新潟市中央区鳥屋野187-19
長　　岡	(0258) 46-8065	〒940-2127	長岡市新産2-8-6
甲　　府	(055) 226-2561	〒400-0035	山梨県甲府市飯田4-8-23
中部・北陸地区			
富　　山	(076) 422-7020	〒939-8211	富山県富山市二口町1-13-8
金　　沢	(076) 235-3310	〒920-0025	石川県金沢市駅西本町6-6-13
福　　井	(0776) 53-7134	〒910-0834	福井県福井市丸山1-1002
松　　本	(0263) 40-3411	〒390-0852	長野県松本市島立1064-1
岐　　阜	(058) 246-3417	〒501-6006	岐阜県羽島郡岐南町伏屋1-35
静　　岡	(054) 236-0691	〒422-8034	静岡市駿河区高松2-26-10
沼　　津	(055) 935-0501	〒410-0822	静岡県沼津市下香貫七面1152-2
浜　　松	(053) 461-8685	〒430-0812	静岡県浜松市南区本郷町123
名 古 屋	(052) 485-3620	〒453-0816	愛知県名古屋市中村区京田町2-1
岡　　崎	(0564) 23-3418	〒444-0009	岡崎市小呂町字2-30
津	(059) 236-5195	〒514-0111	三重県津市一身田平野285-2
近　畿　地　区			
滋　　賀	(077) 514-2221	〒524-0021	滋賀県守山市吉身4-1-24南井産業第3ビルB棟
京　　都	(075) 672-0877	〒601-8135	京都市南区上鳥羽石橋町8 NTTコミュニケーションズ京都南ビル
福 知 山	(0773) 24-3405	〒620-0062	福知山市和久市町290和久市岩堀ビル2階
大　　阪	(06) 6992-6235	〒570-0086	守口市竹町4-13
大 阪 南	(06) 6761-4600	〒543-0001	大阪市天王寺区上本町5-1-14三洋ビル2F
大 阪 東	(072) 965-1811	〒578-0903	東大阪市今米2-3-29
阪　　和	(072) 258-5001	〒591-8025	堺市北区長曽根町3068-5
神　　戸	(078) 651-3951	〒652-0813	神戸市兵庫区兵庫町2-2-18
阪　　神	(06) 6432-3401	〒661-0026	兵庫県尼崎市水堂町4-17-6
姫　　路	(079) 282-7892	〒670-0943	兵庫県姫路市市之郷町1-9
淡　　路	(0799) 42-6015	〒656-0478	兵庫県南あわじ市市福永536-1

奈　　良	(0744) 22-7888	〒634-0817	奈良県橿原市寺田町113-1
和　歌　山	(073) 473-7112	〒640-8301	和歌山県和歌山市岩橋1636-1
中　国　地　区			
鳥　　取	(0857) 24-2930	〒680-0843	鳥取県鳥取市南吉方3-107
松　　江	(0852) 23-1183	〒690-0044	島根県松江市浜乃木2-15-3
岡　　山	(086) 245-1634	〒700-0973	岡山県岡山市下中野703-101
広　　島	(082) 279-0170	〒733-0833	広島県広島市西区商工センター4-9-9協和ビル
福　　山	(084) 954-4101	〒721-0952	広島県福山市曙町4-22-10
山　　口	(083) 973-3391	〒754-0024	山口県山口市小郡若草町2-6
四　国　地　区			
徳　　島	(088) 699-4131	〒771-0219	徳島県板野郡松茂町笹木野字八北開拓189-1
高　　松	(087) 843-1840	〒761-0101	香川県高松市春日町片田1657-1
松　　山	(089) 979-3486	〒799-2655	愛媛県松山市馬木町2057
四国中央	(0896) 23-3416	〒799-0404	四国中央市三島宮川2-732-4
高　　知	(088) 885-3411	〒781-8121	高知県高知市葛島2-8-9
九　州　地　区			
福　　岡	(092) 441-2541	〒812-0016	博多区博多駅南4-6-23
北　九　州	(093) 521-5286	〒802-0004	福岡県北九州市小倉北区鍛治町2-4-7
久　留　米	(0942) 37-3934	〒830-0038	久留米市西町105-18
長　　崎	(095) 813-3545	〒851-0101	長崎県長崎市古賀町1006-5
佐　世　保	(0956) 31-7635	〒857-1162	佐世保市卸本町17-1
熊　　本	(096) 388-3434	〒861-8045	熊本県熊本市小山3-2-11熊本トラックターミナル内
大　　分	(097) 543-3454	〒870-0829	大分県大分市椎迫5-6
宮　　崎	(0985) 29-3441	〒880-0022	宮崎県宮崎市大橋3-224
鹿　児　島	(099) 251-4615	〒890-0068	鹿児島県鹿児島市東郡元町12-14
沖　縄　地　区			
沖　　縄	(098) 944-5018	〒903-0103	沖縄県中頭郡西原町小那覇1303 沖縄三洋販売(株) サービス部

(110509S)

☆住所・電話番号は、ご通知なしに変更することがありますので、ご了承ください。

さくいん

資料

無料修理規定

お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買い上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本書をご持参ご提示ください。

1. 保証期間でも次のような場合には有料修理となります。
   - イ. 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   - ロ. お買い上げ後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   - ハ. 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
   - ニ. 業務用としての使用、車両・船舶への搭載など一般家庭以外に使用された場合の故障または損傷。
   - ホ. 本書の提示がない場合。
   - ヘ. 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
   - ト. 消耗品の交換・仕様変更など。
2. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理をおこなった場合の出張料はお客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入の販売店に修理をご依頼になれない場合には、「お客さまご相談窓口」をご覧のうえ、もよりの窓口にお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan.
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または「お客さまご相談窓口」にお問い合わせください。

- **保証期間経過後の修理または補修用性能部品の保有期間について詳しくは「保証書とアフターサービス」をご覧ください。**